

令和6年度使用小学校用教科用図書

東濃採択地区 調査研究結果



令和5年7月19日(水)

東濃採択地区協議会 研究員会

【種目】 国語

【発行者】 3 者

2 東京書籍

17 教育出版

38 光村図書出版

種 目【国語】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 各領域、各事項の内容は、バランスよく構成されている。身近な生活や現代社会に題材が結び付くことで、児童が主体的に学ぶことができるよう、よく配慮されている。また、読書に関わって好奇心・探究心を育むため、多様な本の紹介や図書館を活用するための工夫がされている。「ことばの力」の部分に、国語の言葉による見方・考え方がまとめてあり、系統的に積み上げを図ることができるよう、よく工夫されている。 同じ部首や部分をもつ漢字、穴埋め問題などで既習の漢字を学ぶことができ、将来の社会生活における活用場面を見据えるなど、十分配慮されている。 「書くこと」の領域は、学びを生かして文章を書くことができるように単元が構成されている。また、複数の情報をもとに書くことができるよう工夫されている。中学年までに組立てや取材、情報整理の仕方を学び、高学年で図表を活用しながら表現する単元が位置付けるなど、系統的に定着が図られるよう、大変よく配慮されている。 第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」では、性格や人物像について想像したことを伝え合う言語活動に向けて、言葉の力に関わる学習課題について、想像するポイントや、多くの具体的な観点が提示され、自分の考えを深めるためによく工夫がされている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> 郷土、地域を題材にした教材が低・中・高学年でバランスよく配置されている。低学年の「町で見つけたことを話そう」中学年の「お願いやお礼の手紙を書こう」高学年の「地域のまりょくを伝えよう」など、段階的な学習ができるように、配慮されている。 学習コンテンツでは、第2学年から単元の導入で既習内容を振り返るコンテンツが位置付けられており、学習の系統性を意識できる工夫がなされている。また、どの学年においても、言葉や文字の理解を深める練習問題や、漢字の書き順を一画ずつ確認できるようなコンテンツが、十分配慮されている。 SDGsをはじめ、様々な現代的諸課題に関わる教材を数多く取り上げている。中学年では、「いろいろな伝え方」「『できない』の先に」等のバリアフリーに関する教材と、「数え方を生み出そう」「世界一美しいぼくの村」等の多文化に関わる教材がバランスよく位置付けられており、共生について多面的に考えを深められるように、十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」の単元では、導入を見開きで示し、右側に目標、既習内容の確認、見通しをもたせる問いかけ、読みの着眼点、リード文、左側に学習の流れが示されている。挿絵は見開きに大きく掲載されている。目標と振り返りの観点は整合が図られており、学習の手引きは「見通す・取り組む・ふり返る」という3ステップで構成されている。「取り組む」過程において発問が丁寧に示されており、言語活動や対話モデルの例示が十分位置付けられている。 読書に関わる教材として、読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。言葉に関わる教材は「言葉の広場」「言葉相談室」「季節の足音」「学習で使う言葉」「情報のとびら」など種類が豊富で、語彙を獲得できるように十分配慮されている。漢字に関わる教材は、「漢字を使おう」の中に二次元コードで読み取る練習問題が用意されている。また、「漢字の世界を広げよう」があり、漢字の知識を広げることができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> 5、6年 [1冊] 5年…492g 6年…499g 文節ごとの分かち書きが2年[下]、文節単位の改行が3年[上] P25までなされ、低学年の児童等が理解しやすいように十分配慮されている。1年の特殊音節(「っ」など)の学習は、視覚化、動作化が図られている。 単元で身に付けたい資質・能力を示す「言葉の力」や、学習を進める上で特に注目したいところを示す「コトハのポイント」がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字などが収録されている。 色覚特性に配慮したデザインや色合いで構成されている。

種 目【国語】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年に「書くこと」に関わる教材が多く、「読むこと」教材とつなげた「言葉」の学習の積み重ねができるよう配慮されている。多様で活発な言語活動が設定されていることで、児童が主体的に取り組むことができるよう、工夫されている。「ここが大事」の部分に、国語の言葉による見方・考え方がまとめてあり、系統的に積み上げを図ることができるよう、よく工夫されている。 ・挿絵を見て様子を伝える文章を書くことで、目的をもって既習の漢字を学ぶことができ、将来の社会生活で活用できるよう、よく配慮されている。 ・「書くこと」領域では、中学年までに文章の組立てや取材の仕方、図表や資料の活用について学び、高学年では身に付けた力を生かしてポスターやパンフレットを書くなど、学習の系統が配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとがん」では、中心人物の性格や物語のやま場を伝え合う言語活動に向けて、学習課題を解決するための具体例が提示され、児童が自分の考えをもつことができるように配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年に地域に関する教材が随所に位置付いている。低学年「町の『すてき』を伝えます」高学年「すいせんしよう『町じまん』」などでは、単元を通して児童が地域に目を向けられるように配慮されている。 ・学習コンテンツでは作者紹介が充実しており、どんな立場の人が物語文や説明文を書いているの分かるようになっている。第2学年「さげが大きくなるまでは」等、教材に関する発展的な内容等、外部リンクにつながるように、配慮されている。 ・SDGs など、現代社会の問題を数多く取り上げ、目次にも位置付けられている。第4学年では、「みんなが楽しめる新スポーツ」や「くらしを便利にするために」等のバリアフリー、共生社会に関する題材が、連続して各領域で位置付けられており、理解を深めたいうで共生について考えをもつことができるように、よく配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の単元の導入では、単元のとびらが設定され、めあてやリード文が示されている。単元終末では、めあてと対応した振り返りができるように配慮されている。学習の手引きは、学習過程が「たしかめよう→くわしくよもう→まとめよう→つたえあおう」の4ステップで構成され、思考ツール、図解、子供の反応例等が位置付けられている。 ・読書に関わる教材は、読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。言葉に関わる教材は、巻末「言葉の木」や単元終末の「言葉をふやそう」、日本の伝統的な言葉について触れる「言葉の文化」がある。漢字に関わる教材は、「〇年生で学んだ漢字」があり、既習の漢字を用いて文を作ることができるように、よく配慮されている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年 [上・下分冊] 5年上…293g 下…333g 6年上…292g 下…306g ・文節ごとの分かち書きは、2年 [上] まで、文節単位の改行は、2年 [上] P15 までなされており、低学年の児童が理解しやすいようによく配慮されている。 ・他の教科でも活用できる汎用性のある資質・能力のポイントを示す「ここが大事」、教材中の言葉に対する問いや関連語彙の紹介をした「言葉」「言葉を増やそう」がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字が [上]、[下] それぞれに収録されている。 ・色覚特性に配慮したデザインや色合いで構成されている。

種 目【国語】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年において「話す・聞く」ことに関わる教材が多めに配置され、重点的に学習が進められるよう十分配慮されている。また、各領域、各事項の内容はバランスよく構成され、他教科との関連性も図られている。「たいせつ」の部分に、国語の言葉による見方・考え方がまとめてあり、系統的に積み上げを図ることができるよう、大変工夫されている。 ・挿絵を見ながら物語を書いたり、案内文を書いたりするなど、目的をもって既習の漢字等を学ぶことができ、将来の社会生活における活用を見据え、十分配慮されている。 ・「書くこと」の領域では、「読むこと」の領域の学習で学んだ説明の工夫を生かすことができるよう、単元構成が工夫されている。また、中学年までに取材の仕方や構想の広げ方、文章の組立てについて学び、高学年では図表を活用しながら表現する単元が繰り返し設定され、大変よく配慮されている。 ・第3学年「モチモチの木」第5学年「大造じいさんとガン」では、自分の考えを伝え合ったり朗読とともに発表し合ったりする言語活動に向けて、単元の課題に沿って考える観点を自己選択でき、同じ観点・異なる観点の児童との交流により自分の考えを主体的に深められるように、十分配慮されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土、地域を題材にした教材が数多く位置付けられている。低学年「こんなもの見つけたよ」中学年「わたしの町のよいところ」などでは、学習活動を明確にした課題が示されており、単元の流れの中で地域学習を進めることができるように、配慮されている。 ・学習コンテンツでは、教科書内容に連動した資料が充実している。話す・聞く単元では活動の実写動画が配置されており、児童が目指す姿を明確にもつことができるように、十分配慮されている。 ・SDGsに関わる17のテーマが、教材としてバランスよく配置されている。第4学年「スワンレイクのほとり」第6学年「ぼくのブック・ウーマン」等の外国を舞台にした教材や、第5学年「日本語の特ちょう」等の言語文化の教材を通して、多文化共生について幅広い視点から考えを深められるように、十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の単元の導入では、目標、既習内容の確認、単元扉(絵・リード文・読みの着眼点)が示されている。目標と振り返りの観点には、整合性がある。学習の手引きは、「とらえよう→ふかめよう→まとめよう→ひろげよう」の4ステップで構成されている。子どもの「問い」から学びが始まり、学習の観点や思考を整理する方法、対話的な学びのモデル例示等が、十分に位置付けられている。「ふりかえろう」では、3つの観点(知る、読む、つなぐ)で自己評価ができるようになっている。 ・読書に関わる教材は、様々な読書活動教材と図書館活用教材が位置付けられている。言葉に関わる教材は、「言葉の宝箱」「季節の言葉」がある。漢字に関わる教材は、「漢字の広場」「カンジ博士の○○」があり、既習の漢字を使って文を作ったり、音訓読みの練習をしたりするなど、漢字に関わる知識を身に付けられるように、十分配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年 [1冊] 5年…490g 6年…518g ・文節ごとの分ち書き、文節単位の改行は2年 [上] P89 までなされ、低学年の児童が理解しやすいよう、よく配慮されている。1年生の特殊音節(「っ」など)の学習は、視覚化が図られている。 ・学習した言葉の力を汎用的に活用するための「たいせつ」や他教科や日常生活、読書生活の場面で活用する視点を示す「いかそう」がある。巻末資料には、読み物、言葉、漢字、他教科や日常に生かせる学び方など、多岐にわたる資料が十分収録されている。 ・色覚特性に十分に配慮したデザインや色合いで構成されている。

【種目】 書 写

【発行者】 3 者

2 東京書籍

17 教育出版

38 光村図書出版

種 目【書写】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、工夫されている。文字を書く技能を習得する教材が1年生では17、3年生では16と、各学年において適切な量が位置付けられている。技能を効果的で段階的に習得する流れになっている。 ・初めて文字を書く1年生では、文字が十分練習できるよう、書き込み欄が多めに設定されている。児童が文字を書くときに、ねらいを焦点化できるよう、同じ一文字を繰り返し練習できるように配慮されている。 ・初めて毛筆に取り組む3年生では、筆圧によって線の太さが変わることや、「始筆、送筆、終筆」での穂先の向きの大切さなどを、写真とともに確かめながら学ぶことができる。それに続く4年生では、点画の名前や書き方を確認するページがあり、学び直せるよう工夫されている。 ・文字を整えて書くために、理解しておくべき「原理・原則」が、「書写のかぎ」として系統立てて配置されている。「書写のかぎ」は、自分で穴埋めしながらポイントを考えることができ、主体的な学びになるよう、十分配慮されている。学習の流れが、教材毎に「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」の順に番号で示されており、主体的に学ぼうとする意欲を引き出せるよう工夫されている。また、学習の流れごとに自己評価ができるよう工夫されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる資料は、全学年を通して5つである。3年生以上になると、地域に関わる資料が1つずつは掲載されている。岐阜県に関わる資料は、5年生の美濃和紙の資料が1つある。 ・見開きの各基本単元に二次元コードが2～3か所あり、「見つけよう」では、その単元で学習するポイントがアニメーションやシミュレーションで分かりやすく示されているため、授業の中で活用できる。全学年で音声による解説動画が配置されている。 ・「生活に広げよう」や「学びを生かそう」のページでは、リーフレットや学年のまとめなど他教科や領域、実生活において学んだことを生かすことができる内容が紹介されており、学習手順が細かく示されるなど、よく工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上において、書写の学び方が示されている。「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」「生活に広げよう」という流れに沿って学習を進めることで、学びやすい・教えやすいものとなっている。 ・課題を見いだす問いがはじめにあるため、「文字を美しく書く学習」ととどまらず、「書写のかぎ」となることを仲間との対話から見つけ出し、それを踏まえた上で毛筆の練習に入ることができる。デジタルコンテンツでも同様な流れで示している。1つの字に対し2～3つのコンテンツがあり、用途に応じて利用できるようになっている。 ・「生活に広げよう」では、どの教科のどの学習のどの場面に活かしていくのが具体的に示されている。「文字といっしょに」は文字についての興味・関心が高くなるような話題を取りあげており、主体的な学びを生み出す工夫となっている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を見出し、課題について仲間と話し合う活動のページの後、手本を示す構成である。障がいその他の特性に配慮があり、3ステップで紙面を構成しているため分かりやすい。 ・独自に開発した教科書体とUDフォントによる振り仮名とが使われている。色覚の多様性に配慮されている。 ・水書用紙は灰色で、1、2年にそれぞれ付属。両利きの鉛筆の持ち方が写真と共に詳しく書かれている。「1～6年生で学習する書写のかぎ」では美しく書く「かぎ」を端的にまとめている。

種 目【書写】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、工夫されている。文字を書く技能を身に付ける教材が1年生では20、3年生では19と充実している。書き込み欄は少なく、定着を図るための練習帳は、教科書とは別に準備する方法がとられている。 ・初めて文字を書く1年生では、なぞり書きをしたり擬態語を発声したりしながら、適切に運筆する能力を身に付けて文字を習得できるよう、工夫されている。また、一面で書く「くつ」から二面で書く「ことり」へと段階的に学習を進めることができる。 ・初めて毛筆に取り組む3年生では、穂先の通り道を朱墨で示したり、穂先の角度を比較して提示したりするなど、考えるヒントを示しながら学習できるよう、工夫されている。注目させたい穂先の部分は拡大写真により提示する工夫がなされている。続く4年生では、3年生と同じ写真を掲載し、復習できるよう配慮されている。 ・学習の流れは、始めに「つかむ・考える」で、学習の前に書いた「ためし書き」と教科書の文字とを比べて気をつけることを見つけ、次に「書く・確かめる」で、確かめながら練習をする。最後に「まとめ書き」を行う。「振り返る」で、「ためし書き」と「まとめ書き」を比べて、仲間と振り返りを伝え合う構成となっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる資料は、4年生の「さまざまなかかるた」と6年生の「私たちと文字」の2つである。岐阜県に関わる資料はない。 ・各教材文字のページに二次元コードがついており、「まなびリンク」から学びに役立つ動画や資料を見ることができる。動画は「めあて」を読む音声の流れ、その後字形や運筆を確認できる動画が流れる。特に音声による解説などはない。 ・「レッツ・トライ」のページでは、5年生の総合的な学習の時間「読み手を意識して書こう」や社会「工場見学のメモ - 書く速さを意識して」など、身に付けた書写の力を、学習活動のどの場面で生かせるのかがすぐに分かる教材を掲載している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・左ページは、「めあて」「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふり返ろう」「広げよう」という6つのステップから構成されており、学びやすく教えやすい紙面構成になっている。 ・右ページは手本の文字、左ページは学習のポイントという配置になっており、ページの役割がはっきりしている。基本の筆使いがしっかり身に付くよう、穂先の動きを朱色ではっきりと見分ける工夫がある。これらが凝縮されているため、情報量が多い。 ・1年生から6年生までに学習したことを日常生活につなげていけるよう「レッツ・トライ」で具体的な場の写真を掲載している。また身に付けた書写の力を他教科のどの場面で生かせるのかがわかる教材を豊富に掲載している。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・手本の文字に色づけがしてあったり、文字の輪郭を図形で示したりするなど、視覚的に文字を捉えやすくする工夫がある。 ・カラーUDフォントが使われ、色覚等への特性をふまえた判断しやすい配色やレイアウトになっており、学びやすい紙面構成となっている。 ・1、2年生には水書用紙(グリーン)が付属している。運筆や筆圧の感覚を養い、鉛筆と交互に活用することで適切に運筆する能力を高めることができるように工夫されている。

種 目【書写】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能を段階的に身に付けることができるよう、十分工夫されている。文字を書く技能を習得するための教材が、1年生では17、3年生では17と充実している。技能を効果的で段階的に習得する流れが適切である。また、特に高学年では今日的な課題を取り上げた教材が十分配置されている。 ・初めて文字を書く1年生では、画の線の書き方が、運筆の写真や擬態語とともに分かりやすく説明されている。指や鉛筆でなぞる練習を上下に配置し、適切に書き込めるよう、十分工夫されている。言葉の中の一文字として練習でき、段階的な語彙指導の充実配慮している。 ・初めて毛筆に取り組む3年生では、2年生で学習した点画の種類について振り返りをしてから、一つ一つの点画について筆使いを指導する流れとなっている。また、段階的に学習できるよう十分工夫されている。写真・イラスト・文字の効果的な配置、朱墨による穂先の通りの表記、力の入れ方の数字表記が分かりやすく工夫されている。4年生では点画の種類が「いつも気をつけよう」に位置付き、二次元コードで筆使いを確認し復習できるよう配慮されている。 ・2年生以上は、教材毎に、身に付けたい力が一目で分かる「たいせつ」が配置されている。学習の流れは、「ねらい」「学習の進め方」「たいせつ」「評価」の順に示しており、ねらいと評価を一体化させ、短時間で自己評価できるように工夫されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や岐阜県に関する資料は全学年豊富に掲載されている。また、教科書だけではなくデジタルコンテンツにも資料があり、全学年の教科書に「全国かきぞめマップ」の二次元コードも豊富に掲載されている。各都道府県の書き初めの様子が分かる写真資料を見ることができる。 ・対応した二次元コードがそれぞれのページに掲載されている。動画資料には、各単元でのねらいに沿った音声による解説が流れる。また、角度を変えての動画や振り返りができるように、最後に気をつける部分を示した図が表示されるので、視覚的に分かりやすくなっている。 ・各学年に国語との関連教材を設け、言語活動を通して、日常生活や他教科に生きて働く書写の知識・技能を習得できるように工夫されている。他にも、他教科との関連教材「書写広げたい」を位置付け、教科等横断的な学習が充実するように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「ねらい」「学習の進め方」「大切」「評価」が紙面の3分の1の中で端的にまとめられ、指導のポイントが明確になっている。 ・動画は、学習のポイントを繰り返したり、音声による解説がついていたりする。「分かりにくい・もう一度確認したい」という思いに対応し、主体的な学びにつながる。 ・1年生から6年生までの学習が日常生活につながるよう、具体的な場を設定して学習の必然を実感できるようにしている。6年間の学習を総括し「6年生書写ブック」を位置付けている。書面の3分の2が具体例、3分の1が学びのポイントになっており、つながりが明確である。 ・指導書付属「お手本くん」には、専門家の書字で、半紙手本・名前手本が簡単に印刷できるようになっている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる学習要素は大きく丁寧に、それに付随する要素は小さく簡潔にまとめて示している。学習のねらいが明確で大切なことをつかみやすく、めりほりのある紙面構成になっている。 ・学年に応じて光村教科書体を使い分け、中学年より上の学年では、文字の太さが刺激にならないよう通常の書体を使っている。表紙は耐久性のあるPPラミネート加工・色覚特性への対応も十分されている。色覚の多様性への配慮（赤青のはっきりとした配色）がなされている。 ・灰色の水書用紙が1・2年にそれぞれ付属し、1年生のみ文字枠が文字4つ付いている。「筆で書こうマーク」が掲載され、鉛筆・水書ともに両利きに対応した書具の持ち方が示されている。

【種目】 社会

【発行者】 3 者

2 東京書籍

17 教育出版

116 日本文教出版

種 目【社会】

発行者【2東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「ことば」のコーナーとして位置付けられ、1つの語句について80～190文字程の解説がある。全学年で326の語句が掲載されている。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「まなび方コーナー」が位置付けられ、「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」の3視点でそれぞれの資料の読み取り方などが提示されている。 ・各時間に、その時間に活用する見方・考え方について、「広がり」「時間」「関係するところ」「比べる、分ける、まとめる、つなげる」の4種類のマークを使って具体的に示している。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は135名分。取り上げた人物について、自らの考えを深めたり、自らの生き方に生かしたりできるように位置付けられているところがある。 ・大単元、小単元、一単位時間の学習課題がそれぞれ明示されており、単元全体を通して系統的に問題解決的な学習に取り組める構成になっている。 ・学習問題の設定、予想、課題追究、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、自分の考えを問うような問題提起が多くの単元でされている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県に関わる事例や資料は、5年生のみで6か所取り上げている。世界の河川の比較としての「長良川」、地域の名産を使った給食として「中津川」、情報を生かした観光業として「下呂市」など。「海津市」は「低い土地の暮らし」の単元全体で取り上げている。 ・二次元コードを利用したデジタル教材が、250点以上準備されている。単元の導入やインタビューの動画、資料の拡大、ワークシートなど学習過程にそって充実している。 【コンテンツ】 動画資料・ワークシート・デジタル資料 ・学習状況に応じた学習や個のさらなる学びとして、単元の終末などに「いかす」「ひろげる」のページが位置付けている。「いかす」は社会的な事柄に参画・提案する場面として学習指導要領に「選択・判断」と示されている内容を中心にして7か所。「ひろげる」は、学習内容の発展や比較、補充する内容として44か所。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、学ぶ視点が明確にされた学習課題が提示されている。各ページでは「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」と単位時間の位置付けが明記され、単位時間の学習課題も具体的に示されている。 ・3年生「市の様子」において、市の土地利用や発展の変遷について全て同じ地図資料を活用しているように、単元の中で同じ資料を一貫して活用したり比較しやすい資料を使用したりしている。 ・デジタルコンテンツも子どもが見て理解しやすいように、文字の説明だけでなく、動画にしてあり、習熟を高めるような問題もあり充実している。 ・「活用のポイント」(アニメキャラクターで位置付け)が示され、社会的な見方・考え方で学び進める工夫がされている。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年は分冊 5年上250g・下264g 6年上320g・下222g ・本文にUDフォント採用。文字の大きさが考慮され重要語句がフォントを替え強調している。 ・カラーユニバーサルデザインが大変よく配慮している。 ・資料と学習問題のレイアウトが大変分かりやすい。資料が見開きになっており大変比べやすい。 ・地図利用の学習では、同じ場所、同じ大きさの地図を使うことで、比較しやすい。 ・巻末に年間で学んだ内容がおさえられ、振り返りができるようになっている。 ・索引は、ことば、ことがら、地名・国名、人名を掲載している。3、4年は地図上に都道府県名を掲載している。

種 目【社会】

発行者【17教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「キーワード」として位置付けられている。その他、難しい語句についての解説がある。全学年で200の語句が掲載されている。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「学びの手引き」が位置付けられ、「集める」「読み取る」「表す」の3視点でそれぞれの資料の読み取り方などが提示されている。 ・社会的な見方・考え方について、主に単元の導入で単元の学習で活用する見方や考え方を、イラストの吹き出しで例示している。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は197名分。学習内容がより実感できるように工夫や願いが掲載されている。 ・一単位時間の学習課題と次時への見通しがそれぞれ明示されており、単元全体を通して系統的に問題解決的な学習に取り組める構成となっている。 ・学習問題の設定、予想、課題追究、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、異なる立場など様々な視点から自分の考えを確かめられるような問題提起もされている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県に関わる事例や資料は、3か所。3年生、交通の変遷として「岐阜のコミュニティバス」、4年生、各都道府県の観光名地として「白川郷」、5年生、日本の特徴的な気候の一例として「白川村(雨温図)」が取り上げられている。 ・二次元コードを利用したデジタル教材が、212点準備されている。補足資料や外部リンク、クイズなど家庭での個別学習にも活用できる教材が多くある。 <p>【コンテンツ】補足資料・外部リンク・動画・ワークシート・資料の読み取り支援・クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況に応じた学習や個のさらなる学びとして、単元の終末などに「つなげる」「もっと知りたい」のページが位置付けている。「つなげる」は社会的な「選択・判断」や地域や社会のこれからについて「構想」する場面として15か所。「もっと知りたい」は、意欲や関心に応じてさらに広く深く学習する内容として28か所。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、学ぶ視点が明確にされた学習課題が提示されている。各ページでは「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」と単位時間の位置付けが明記され、単位時間の学習課題も具体的に示されている。 ・どの学年の教科書にもタブレットを生かした学習の仕方について始めに紹介されており、二次元コードも動画、ワークシート、クイズ、資料のヒントなど、動画から、習熟を高めるような問題もあり充実している。 ・教科書に活動の手順や段階が位置付けあり、児童が見通しを持ちやすくなっている。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5, 6年 1冊 5年 500g 6年 580g ・本文にUDフォントを採用。文字の大きさが考慮されている。重要語句が太字になっている。 ・カラーユニバーサルデザインにしている。 ・資料のイラストや写真が大きく見やすい。写真は、カラー化した画像が52点掲載されている。 ・目次に「学びのてびき」の一覧が示されている。 ・巻末に年間で学んだ内容がおさえられ、振り返りができるようになっており、3～5年はSDGsと関連付けている3年は「社会科ガイド」、5年は単元ごとに地図上にまとめてある。 ・索引は、教科書に出てきたキーワード、ことがら、人名を掲載している。6年では、「歴史地図 さくいん」も掲載している。

種 目【社会】

発行者【116日本文教】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識の習得を図るため、重要語句が「キーワード」として位置付けられ30～100文字程の解説がある。全学年で169の語句が掲載されている。難解語句は、「むずかしい言葉」として説明がある。 ・基礎的な技能の習得を図るため、提示資料の近くに「学び方・調べ方コーナー」が位置付けられ、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3視点で資料の読み取り方法などが提示されている。全学年で83か所ある。 ・その時間に活用する見方・考え方について、「空間」「時間」「関係」の3種類のマークを使って具体的に示しているところがある。 ・全学年で取り上げられている「社会で生きる人の話」は200名分。学習の内容がより実感できるように、工夫や願いが掲載されている。 ・小単元の課題と一単位時間の学習課題が明示されており、単元を通して考えるべきことが明確になっている。 ・学習問題の設定、学習の振り返りの場面等で話し合い活動が設定されている。また、単元の終末では、改めて単元の学習問題を提示して考えられるように構成されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県に関わる事例や資料は、5か所。5年生、世界の河川の比較としての「長良川」、噴火する火山の紹介として「御嶽山」など。「海津市」は5年生「低い土地の暮らし」の単元全体で取り上げている。 ・二次元コードを利用したデジタル教材が、500点以上準備されている。シミュレーションやスライドショーなど、児童が凡例別表示や変遷を操作しながら個別最適な学びができる教材がある。 <p>【コンテンツ】アプリケーション(すごろく)・動画・ワークシート・シミュレーション・スライドショー・画像・外部リンク・関連資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な学習として、SDGsを通して現代的な諸課題を考えるページが位置付いている。全学年合計で32か所に系統的に配置され、17の目標すべてを扱っている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、学ぶ視点が明確にされた学習課題が提示されている。各ページでは「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・かいけつする力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」と単位時間の位置付けが明記され、単位時間の学習課題も具体的に示されている。 ・デジタルコンテンツはNHK for Schoolなどとも連携しており、3年生で扱う方位磁針の使い方なども動画にしてあり、わかりやすい。 ・キャラクターによる会話形式により、学習内容が親しみやすく要点がとらえやすい。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年 1冊 5年 550g 6年 565g ・本文にUDフォントを採用。重要語句がフォントを替え強調されている。 ・カラーユニバーサルデザインがよく配慮されている。 ・資料と学習課題のレイアウトが見やすく、資料が比べやすい。 ・目次に「学び方・調べ方コーナー」の一覧が示されている。 ・巻末に年間で学んだ内容がおさえられ、振り返りができるようになっている。また、全学年SDGsと関連付けており、身に付いた力の確認や次学年への見通しがもてるようになっている。SDGsの目標シールを活用するようになっている。 ・索引は、教科書に出てきたキーワード、国名や地名、ことがら、人名を掲載している。全学年地名は地図上に記載されている。

【種目】 地図

【発行者】 2 者

2 東京書籍

46 帝国書院

種 目【地図】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容別ページ数 日本の地図 41P 世界の地図 17P 日本の資料 21P 世界の資料 5P 地図の基礎 8P その他 28P ・ 地図のしくみや使い方が解説されている。(P7-14 計8P) ・ 日本の領土・領海, EEZ を図で示している (P15-16)。また, 日本固有の領土の写真を各地方の地図に掲載 (尖閣諸島 p19, 竹島 p25) し, 現状を説明している。北方領土は同列扱いなし。 ・ 日本で過去に起きた自然災害について, 位置や年次, 被害の様子などの資料が見開き 3P にわたって掲載されている。(P97-99) ・ 下記のもものが掲載され, 各教科との関連が図られている。 理科 …日本の自然災害の資料図 P97～P99 家庭科 …世界の料理・日本の郷土料理 P64,84 音楽 …音楽発祥の地 (ジャズ, タンゴ, クラシックなど)。有名な音楽家の活躍した地 (ベートーベン) 国語・道徳 …杉原千畝, 野口英世などの活躍の地 P59,61
2 岐阜県教 育振興基 本 計 画 (第3次 岐阜県教 育ビジョ ン)の基 本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生「低い土地の暮らし」の学習に関して, 海津市の土地の様子を動画で分かりやすく説明している。 ・ 白川郷, 郡上おどり, 御嶽山の噴火が写真で掲載されており, 故郷や地域へ関心をもつ工夫が図られている。(81、82、97) ・ 各省庁のキッズコーナーや子どもサイト (6サイト) にリンクしており, 調べ学習に利用しやすいように配慮されている。 ・ QRコードのコンテンツは全136ある。(動画6、クイズ6、地図110、他15) ・ 初めて地図を扱う3年生に対して, 地図の成り立ちの手順が写真と絵を使って, 俯瞰図から真上、地図への移行が7、8ページに詳しく説明されている。 ・ 「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」の中で, 地図に関する問いを三段階に分けて出題しており, 自分の学習状況に合わせて取り組めるように配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャラクターの吹き出しが, 学習の進め方, 社会的な見方・考え方を働かせる手がかりとなっている。 ・ 「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」が全40箇所, 70問設けられており, 社会的な見方や考え方を働かせるために, 配慮されている。また, デジタルコンテンツ内に「がんばりシート」が付属されており, 地図を活用した成果の積み上げができ, 児童自身が達成感を得られる配慮もされている。 ・ 地図のページには縮尺, 地図記号, 土地の高低について絵図を使って分かりやすく明記されており, 地図の使い方を確かめながら学習できるように配慮されている。 ・ 3ページに世界の挨拶と民族衣装, 62ページに海外の料理について掲載されており, 他国の文化に関心をもてるように配慮されている。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判 ・全102ページ ・重量…351g ・ 全体的に濃い着色になっている。一部の地図で地図記号を地紋として掲載しており, 色覚特性への配慮がなされている。特産物のイラストの数が多く掲載されている。 ・ 索引欄項目の頭にチェック欄 (□) を設けている。

種 目【地図】

発行者【46 帝国書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・内容別ページ数 日本の地図 63P 世界の地図 17P 日本の資料 23P 世界の資料 5P 地図の基礎 14P その他 10P ・地図のしくみや使い方が解説されている。(P7-20 計 14P) ・日本の領土・領海, EEZ を図で示している (P31-32)。また, 「日本固有の領土」と明記して写真を掲載し, 現状を説明している。 ・日本で過去に起きた自然災害について, 位置や年次, 被害の様子などの資料が見開き 2P にわたって掲載されている。また, 防災について見開き 2P で掲載されており, 自助につなぐ投げかけがされている。(P99~102 計 4P) ・3年生からの活用で, 写真・絵→絵地図→地図と段階的に示している。(P7~18 計 12P) ・下記のもが掲載され, 各教科との関連が図られている。 国語 …教科書で扱われる頻度の高い人物(ルイ・ブライユ, 等)や物語の舞台(大きなかぶ, 等) 音楽 …教科書で扱われる頻度の高い音楽の舞台(ほたるの光, 荒城の月等)の位置。また, 主な作曲家(ベートーベン, 等)の出身。それぞれの記号があるページには凡例として記されている。 理科 …日本の自然災害と防災の取組 P99~102
2 岐阜県教育振興基本計画 (第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「低い土地の暮らし」「自動車をつくる工業」の学習に関して, 詳しく明記されている。 ・6年生「武士による政治の安定」に関して, 関ヶ原の戦いにおける両軍の進路や戦の時系列が取り上げられている。(55、56のQRコード) ・QRコードのコンテンツは13種類、全631ある。地図のしくみや使い方を動画で説明したり, 統計資料をグラフ化, 地図化したりすることができ, コンテンツを直接活用するための工夫が十分図られている。 ・コンテンツには, 「日本の四季の変化」「世界のあいさつ」などが新設されており, 他教科との関連も図られている。 ・デジタル化された地図が376ある。1つの県に対して8種類の地図があり, 目的に応じて地図を使い分けることができる。 ・「地図マスターの道」の中で, 問いのレベルが学年別に三段階に分かれており, 発達段階や学習状況に応じてスモールステップで取り組むことができる。
3 濃 地 区 教 員 及 員 童 の 実 態 を 踏 ま 育 の 教 育 に 関 充 実 す 充 実 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史について7ページ, SDGsについて11ページ特設されており, 歴史地名や当時の様子, 持続可能な社会に向けた各地の課題や取組を理解できるように配慮されている。 ・「地図マスターへの道」が全37箇所, 100問設けられており, 地図を活用する技能や知識を身につけたり, 社会的な見方や考え方を働かせたりするために工夫されている。また, キャラクター(教師役)の吹き出しが, 「地図マスター」の道の問いと関連しており, 発展した内容を扱っているため, 学習活動をさらに深めることができる。 ・「集まれ世界の子どもたち」が84~94ページにわたって掲載されており, 各国の自然や文化の特徴について関心がもてるように配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 ・全132ページ ・重量…337g ・地形図の色は, 明るくやや淡い着色となっている。また, 地図記号を地紋として掲載しており, 色覚特性への配慮がなされている。強調点が目に入りやすい。 ・「広く見わたす地図」を位置付け, 地図学習導入段階の児童にも親しみやすい情報量(特産物のイラスト, 交通の様子, 地形や土地利用)の地図が掲載されている。P21-30 計 10P

【 種 目 】 算 数

【 発 行 者 】 6 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

61 新興出版社啓林館

116 日本文教出版

種 目【算数】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、3つの考え方を取り上げて比べることで、大きい数の倍数をもとに考えればよいことが理解しやすい。さらに同じタイプの問題を反復練習することによって知識・技能を身に着けられるよう大変よく配慮されている。 ・複合図形の求積の問題では、不完全な考えを式や図で捕捉しながら説明させ、児童が考えたくなるよう工夫されている。背景に方眼がありイメージが捉えやすい。より効率的な求積方法を判断する練習問題があり、自ら学びを深めることができるよう十分配慮されている。 ・1年生「どちらがひろい」の学習では、日常の2つの場面を提示することで、やってみたいと意欲をもつ配慮がされている。比較しやすい格子状のタイルを題材に間接比較をさせ、さらに陣取りゲームを取り上げて、比べてみたいと意欲をもつようよく配慮されている。 ・乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、4年生で2本の数直線の間でテープ図を入れて、2本の数直線へと移行し系統的に学ぶことができるよう大変よく配慮されている。QRコードに数直線図の使い方がまとめられ、理解の助けになっている。 ・構成の工夫として、「同じように考えると」や「それなら」等の吹き出しが、朱書きで多く位置づいており、これまでに学習した考え方を活用して対話的に考えたり、学習内容の理解をさらに深めたりすることができるように十分配慮されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードの数は788個ある。内容は、「練習問題の答え」「自分で操作できる図」「計算の説明動画」がある。すべての練習問題をタブレット上で行う事ができ、解説、解答も掲載されているため、児童が個別に学習を進められるようよく工夫されている。 ・「プログラミングを体験しよう」というプログラミング学習のページ数は、4年生1、5年生2、6年生2の計5ページある。6年生の巻末では、アルゴリズムの図を完成し、プログラミングの仕組みが理解できるようによく工夫されている。 ・補充問題は巻末に1年生を除き各学年10ページ以上用意されている。似ている問題と少し難しい問題があり、学習状況に応じて選択して学べる配慮がされている。「おもしろ問題にチャレンジ」など、興味をもって発展的に考えたい子に対する配慮が十分にされている。 ・2年生以上に「どんな計算になるのかな?」「考える力をのばそう」「算数で読み解こう」というコーナーがあり、深い学びにつなげたり算数の興味を深めたり、多様な個の学習を支援できるよう十分配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、めあてとまとめが明示され、数学的な見方・考え方の具体的な記述により、児童が考える余地を残しながら学習の流れが丁寧に可視化されている。 ・単元の導入では、オープニングムービーで日常生活と算数のつながりに気付かせたり、児童の興味関心を喚起させたりするようよく工夫されている。 ・「ますりん」という先生と子どもキャラクターの吹き出しが、既習内容と結び付けたり、考え方のヒントになったりして、学習のめあてに向かえるよう大変よく配慮されている。 ・単元末の問題「たしかめよう」で基本的な知識・技能を定着させ、「つないでいこう算数の目」で数学的な見方・考え方を定着させるよう大変よく配慮されている。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生のみ合冊で、1～5年生までは上下別冊となっている。1年生①はA4判139gで、軽量かつ大きくて、紙面上での操作がしやすいようよく配慮されている。 ・色覚特性に適応するよう目に優しい中間色を基調にし、色数を抑えながらメリハリのあるデザインになるようよく配慮されている。 ・巻末に「ふりかえりコーナー」があり、既習の大事な事項がまとめてある。6年生は、「中学校体験入学コース」で今後の数学への楽しみや面白さを味わえるようよく工夫されている。

種 目【算数】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、3つの考え方を取り上げて比べることで、大きい数の倍数をもとに考えればよいことが理解しやすい。同じ授業の中で発展問題も取り上げ、知識・技能を身に着けられるよう大変よく配慮されている。 ・ 複合図形の求積の問題では、不完全な考えを式や図で捕捉しながら説明させる形式で、児童が考えたくなる工夫がされている。練習問題では、より効率的な求積方法を判断する問題があり、数学的な見方・考え方に気付くよう十分配慮されている。 ・ 1年生「ひろさくらべ」の学習では、より身近なハンカチを題材に直接比較させ、次に、比較しやすい格子状のマットを題材に間接比較をさせている。さらに、陣取りゲームを取り上げて、練習問題も1問あり、段階的に資質・能力の定着が図れるよう大変よく配慮されている。 ・ 乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、4年生ではテープ図と数直線から2本の数直線を並べて表記に移行し、5、6年生では数直線図で表記され、系統的に学ぶことができるように十分配慮されている。QRコードにもそれがまとめられている。 ・ 凡例で主要な数学的な見方・考え方を「ひらめきアイテム」としてまとめ、一年を通して見返して活用できるよう工夫されている。特によく考えて話し合いながら学習するところは、「じっくり深く学び合おう」という時間を設定し、学習を深められるようよく配慮されている。
2 岐阜県教育 振興基本 計画(第3 次岐阜県 教育ビジ ョン)の 基本方針 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次元コードの個数は933個ある。内容は、「動画」「ふりかえり」「操作」「練習問題」があり、授業の中で考え作りに活用できるコンテンツが多く、児童の思考を助ける配慮が十分されている。演算決定に数直線図を使って考察するためのコンテンツが特に充実している。 ・ プログラミング教育に関するコンテンツは、「プログラミングにちょうせん」として1～6年生まですべての学年に用意されている。成長段階に応じて、プログラミング教育が段階的に進められるよう大変よく工夫されている。 ・ 「プラス・ワン」という補充問題が巻末にあり、単位時間ごとに、練習問題を早く解き終わった時や難易度の高い問題に取り組みたい時に挑戦できる。また、巻末にある学年の復習問題にも難易度が高い問題が位置付いており、学習状況に応じた配慮がよくされてる。 ・ 単元の終わりや巻末に「算数たまたまばこ」「なるほど算数教室」など、日常生活の事象から世界的、歴史的な事象にまで結び付けたさまざまな問題を紹介し、算数に対する興味関心を高め、学びを深めるページが充実し、多様な学びへの十分な配慮がされている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間、学習のめあてとまとめが位置付いている。ページをめくらないと解決方法が見えないような仕掛けがあり、主体的・対話的な学習を促す配慮が十分されている。 ・ 単元の導入では、日常生活の中の事象を取り上げたり、既習の学習と比べ疑問や問題を見いだしたり、関心をもって進められるよう大変よく配慮されている。 ・ 授業場面の写真や板書の様子を用い、子どものキャラクターが多様な解決方法を比較検討する話し合い場面を例示しており、児童が学習を深めていけるよう大変工夫されている。 ・ 章末の「たしかめ問題」では、知識及び技能や思考力・判断力・表現力が、児童の習熟の状況に応じて進められるようよく配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生のみ別冊で、2～6年生は合冊となっており、年間を通して振り返りがしやすいように配慮されている。1年生①のみA4判126gで、軽量かつ大きく紙面上での操作がしやすい。 ・ カラーユニバーサルデザインを踏まえて、領域ごとに目次の色分けをするなど、配色を工夫し、見やすく使いやすいうように配慮されている。 ・ 凡例として、1年生から算数の学び方が掲載され大変充実している。巻末には、中学校の数学へつなぐコーナー（5、6年生）があり、楽しみながら移行できるよう十分工夫されている。

種 目【算数】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、3つの考え方を取り上げて比べることで、大きい数の倍数をもとに考えればよいことが理解しやすい。同じタイプの問題を反復練習することによって、正しい知識・技能を身に着けるよう配慮されている。 ・複合図形の求積の問題では、4つの考え方を示し、図から式を考えさせている。児童の思考を助ける工夫がされている。既習の長方形や正方形に帰着して考えることよさに気付くよう配慮されている。 ・1年生「ひろさくらべ」の学習では、直接比較と間接比較を示している。「くらべてみよう」という単元の1節として1ページにコンパクトにまとめられている。最後は陣取りゲームをすることによって自分も比べてみたいと意欲をもつよう配慮されている。 ・乗除の演算決定において、3、4年生で、テープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線に移行し、系統的に学ぶことができるようによく配慮されている。また、表や図を活用して数量を整理する表記を併用し、理解の助けになっている。 ・数学的な見方・考え方を9体の「考え方モンスター」として具現化している。その考え方を状況に応じて選択し、自分の考えをもつ一助とすることで、主体的・対話的な授業が行えるようによく工夫されている。
2 岐阜県教育 振興基本 計画(第3 次岐阜県 教育ビジ ョン)の 基本方針 に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードは529個ある。内容は、「図の書き方や計算の仕方の動画」「自分で操作できる図」「既習の確認」「練習問題の類題」「外部資料」などである。授業で学んだことを確認したり、練習問題で確かめたりするなど、個別での学習に活用できるよう工夫されている。 ・プログラミング学習については、全学年に用意されており、ゲーム感覚で学ぶことができる。学年が上がるごとに段階的にプログラミング的思考や論理的思考を身に付けられるよう工夫されている。 ・巻末の補充問題は全学年合わせて134ページ用意されている。単位時間ごとではなく、単元末「できるようになったこと」の追加問題として活用できる。問題量が多く、自己の学習状況に応じて問題を選択できるよう工夫されている。 ・「考え方モンスター」だけでなく、子どものキャラクターの吹き出しで、その単元を学習にするにあたっての数学的な見方、考え方を示す言葉、必要な既習内容を示すなどして、個の学習を支援するよう配慮されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教員にとっても児童にとっても、「考え方モンスター」を基に授業を展開することで、適切な発問をしたり授業内容をまとめたりしやすいようよく工夫されている。 ・単元の導入では、身近な疑問を見出せるような題材を設定することで、児童が自ら学びたくなるような工夫がされている。 ・課題解決型のめあてになっており、それに対応したまとめになっている。また、単位時間の終末には、次の学習の見通しをもつような吹き出しの工夫がある。 ・単位時間で学ぶ内容が、教科書左側のラインで示されていて、予習や復習などに活用できるよう配慮されている。
4 表現や体 裁等に關 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1～6年生まで上下別冊となっている。横はA4判、縦はB5判で少し大きいサイズである。大きい分少し重い、1ページが広く見やすいように配慮されている。 ・色使いやレイアウトにおいて、カラーユニバーサルデザインの視点を取り入れている。1年生の教科書は字が大きく、見やすいように工夫されている。 ・凡例には、「算数の学び方」が示されている。「考え方モンスター」の裏面に、学年で見つけた見方・考え方がまとめられていて、活用しやすいように工夫されている。

種 目【算数】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、2つの考え方の中でよい方法を考えさせる展開となっている。自分で考えが思いつかない子も、教科書の考え方を参考にして考え作りができるようによく配慮されている。 ・複合図形の求積の問題では、4つの考え方を図で示しイメージしてから、立式につなげさせている。倍積の考え方にも触れることで児童の思考を広げている。練習問題では、コの字型の問題でより効率的な求積方法を判断させるよう工夫されている。 ・1年生「ひろさくらべ」の学習では、直接比較と間接比較を示している。最後は、じんとりゲームをすることによって、比べてみたいと意欲をもつよう配慮されている。じんとりゲーム②は、形や面積の違うマスを塗ることで、楽しく学べるようよく工夫されている。 ・乗除の演算決定において、3年生上巻末トピックス以降、基本的には2本の数直線で表記されている。3年生下以降は、巻末の「学習の手引き」に全く同じ数直線の書き方が掲載され、貫く見方・考え方として定着するよう配慮されている。 ・単元の前半で見出した数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」として、後半は自ら活用していく形式で展開していく。単元末には「学んだことを使おう」のページがあり、日常生活と結び付け、より深い学びができるようよく配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードは586個ある。内容は、「計算の仕方の動画」「学習したことをまとめた動画」「自分で操作できる図」等が「まなびリンク」で構成されている。主に単位時間の最後の振り返りとして確認するのに活用できるよう工夫されている。 ・プログラミング学習については、プログラミング的思考の育成を目的としたコンテンツが全学年に用意されている。プログラミングの基本的な考え方や操作について、1ページ(5年生のみ2ページ)にまとめ、理解しやすいように工夫されている。 ・補充問題は、1年生を除き、各学年10ページ以上用意されている。巻末にステップアップ算数、広がる算数があり、個の学びのニーズに合わせた学習ページが工夫されている。また、「学びのマップ」を使って既習事項を振り返り、資質・能力を定着させるよう配慮されている。 ・「算数ワールド」で発展的な学習が位置付けられており、より深く数学的な思考力を身に付けられるようよく配慮されている。また、ページの下段には、「算数ひろば」や「もっとやってみよう」があり、随所で興味や意欲を喚起する工夫がある。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「はてな」から学習のめあてをつくり、見方・考え方を「なるほど」でまとめ、新たな問い「だったら」へつなげられるように分かりやすい展開に工夫されている。 ・単元の導入では、「どんな学習が始まるかな？」という問いかけで、身近な素材から算数の問題を見出し、興味関心をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 ・単元のまとめには、振り返ろうで、4コマ漫画で端的に単元の大まかな内容を振り返ることができ、単元のまとめの練習に生かすことができるよう工夫されている。 ・書く練習問題に自己評価を書き込むところがあり、自らの理解を書き留め、自己の学習を振り返ることができるように配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1、5、6年生は合冊で、2、3、4年生は上下別冊となっている。学年の学習内容に応じて使いやすいように工夫されている。 ・色覚の個人差等に配慮し、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。色数を抑え、文字が大きくて見やすいよう配慮されている。 ・巻末に、コンパスの使い方などの知識がまとめてある。中学とのつながり、さらに他教科とのつながりのコーナーがあり、算数の面白さを感じられるよう大変よく工夫されている。

種 目【算数】

発行者【61 啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、2人の考え方の中でよい方法を考えさせる展開となっていて、自分の考えが作りやすい。また、同様に3つの数の公倍数の求め方も提示してあり理解しやすいようよく工夫されている。 ・複合図形の求積の問題では、図でイメージしてから立式につなげているので、思考の流れはスムーズである。問題と同じページに考え方が提示されているので、それを基に考え作りがしやすい。少し難易度を上げた類似問題が2問あり、知識・技能を定着させる工夫がある。 ・1年生「大きさをくらべ」の学習では、身近なレジャーシートを題材に直接比較をさせ、格子状の花壇を題材に間接比較をさせ、さらに陣取りゲームを取り上げて、比べてみたいと意欲をもつよう十分に配慮されている。 ・乗除の演算決定において、4年生でテープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線に移行し、系統的に学習できるよう配慮されている。また、テープ図と関係図の2種類を用いて学習し、6年生に向けて理解の助けになるようよく工夫されている。 ・巻頭において、「算数の学習の進め方」があり、「算数で使いたい考えの進め方」として前学年で活用した数学的な見方・考え方が整理してある。また、本文中で大事にしたい見方・考え方をマーカーで強調しており、深い学びにつながるよう十分配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードの数は740個ある。内容は、「解説動画」「道具の使い方動画」「レディネスチェック」「自分で操作できる図」「問題(ヒントあり)」などがある。全ての主問題について解説動画があるため、何回も学習の振り返りができるよう十分配慮されている。 ・プログラミング学習では、全学年巻末に2ページずつコンテンツが用意されている。ロボットを動かすことや図形を動かすなど児童が興味をもちやすい題材を用いて、徐々にプログラミング的思考力が身に着くようよく工夫されている。 ・単元末の補充問題は、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の3つで構成されている。ヒントや戻るページが明記され、児童が自ら振り返ることができる。また、発展的な問題も豊富であり、個に応じた学習を進めることができるようよく工夫されている。 ・単位時間の「ふりかえろう」で単元の大切だと感じたことを書かせるようになっており、その文例も示されている。また「やってみよう」では、学びを今後にどう生かすかという問題も含まれ、興味関心を高める工夫がされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、「学習のめばえ」「学習のめあて」「学習のまとめ」が位置付いており、授業展開が分かりやすく、また、児童が課題意識をもって学習を取り組めるようよく配慮されている。 ・単元の導入では、日常生活や既習の内容と関連付けて、課題意識や見通しをもって学習に取り組める場面が設定され、意欲につながるよう工夫されている。 ・レディネスチェックを行う「じゅんび」で、既習事項とのつながりを確認し、巻末の「もっと練習」で、習熟度や個に応じて学習を進められるよう十分配慮されている。 ・問題が理解しにくかったり、考えが出しにくかったりするページには、学習内容を説明するスマートレクチャーがあり、主体的に活用することができるよう十分配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「すたあとぶっく」のみA4判で、文字や図が大きく操作がしやすいよう配慮されている。他はB5判で、5、6年生は合冊、1～4年生は上下別冊で扱いやすい。 ・色覚の個人差等に配慮した配色やデザインを取り入れて構成している。全体が、目に優しい中間色を使用し、色数を抑えて見やすいデザインに配慮されている。 ・巻末に、学年の学びが簡単にまとめられている。6年生は、数学を活用した仕事についている人へのインタビューがあり、算数・数学のよさを感じられるようよく工夫されている。

種 目【算数】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数の公倍数の求め方を考える問題では、2つの考え方を取り上げて比べることで、大きい数の倍数をもとに考えればよいことを理解することができる。練習問題数が多く、知識・技能の定着につながるようよく配慮されている。 ・複合図形の求積の問題では、対話をしながら協働学習で求め方を考えた後、式から図の見方・考え方を導き出す展開になっている。教科書に5つの考え方があり、多くの考え方に触れることができるよう配慮されている。 ・1年生「ひろさくらべ」の学習では、経験したことのある日常の場面を提示することによって比べてみたいと意欲をもつように配慮されている。間接比較は、陣取りゲームを取り上げて、例示をした後、実際にやってみたいと意欲をもつようによく工夫されている。 ・乗除の演算決定において、3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、5年生で2本の数直線へ移行し、系統的に学ぶことができるようによく配慮されている。巻末「よみとろうあらわそう」で図のかき方についてまとめられ、理解の助けになるよう配慮されている。 ・巻末には発展的な問題「ぐっとチャレンジ」があり、じっくり考え学んだことを深められるよう工夫がある。さらに「もっとジャンプ」では、学んだことを日常の場面に広げて生かしているよう配慮されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードは893個ある。内容は、「自分で操作できる図」「計算の仕方などの動画」「定義・用語の確認」「レディネス問題のヒントと答え」「計算練習」などがある。授業の中で、思考の手助けになるコンテンツが多く、児童が自ら考えられるよう工夫がされている。 ・プログラミング学習については、全学年に位置付いており、段階に応じてプログラミング的思考力が身に着くようよく工夫されている。さらに5、6年生では、スクラッチを使って実際にプログラミングをすることができる。 ・巻末には、学年の復習が数ページ用意されている。また、その学年までに学習した内容が、見やすくまとめられており、自分の考えを作る一助となり、算数の資質・能力の向上につながるようよく配慮されている。 ・補助問題が大変多く、1年生を除くすべての学年で充実している。巻末に「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3段階に分かれた問題が用意され、主体的な学習を促すページが多く、児童が自ら学べるよう大変よく工夫されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、学習のめあてとまとめが位置づいている。子どもキャラクターが、上段は汎用的で下段は具体的な視点で見方・考え方を示し、児童が考えやすいようよく工夫されている。 ・単元の導入では、目を引く写真や図を提示し、日常にある算数の問題を取り上げ、児童が興味・関心を抱きやすいように配慮されている。 ・既習事項とのつながりでは、「次の学習のために」というレディネス問題があり、過去のどの単元とつながっているかを思い出させ、学習がスタートできるようよく工夫されている。 ・単元のまとめ「わかっているかな」で、一問一答式の答えやすい形式で基本を確かめ、「たしかめよう」で定着を図るよう配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生は合冊で、1～4年生は上下別冊となっている。学年の学習内容に応じて使いやすいうように工夫されている。 ・カラーユニバーサルデザインを取り入れている。色文字の使用を抑え、落ち着いて学べるように配慮されている。 ・凡例と巻末に、教科書の使い方や学び方ガイド(5、6年生付録)が掲載され、算数の学び方が身に付き、面白さを感じられるよう大変よく工夫されている。

【種目】 理科

【発行者】 6 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

(26 信州教育出版) 見本なし

61 新興出版社啓林館

種 目【理科】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、「まとめ」として問題に正対した結論と重要語句を記載している。単元後の「たしかめよう」「デジ問」に多くの問題を掲載している。実験器具の扱いは、QRコードで見ることができ、巻末にもまとめて掲載している。安全面の配慮は、「きけん」マークを位置付け、禁止事項とその理由を赤い文字で強調している。 ・理科の見方・考え方については、「のぼそう！理科の力」という項目で、QRコードを活用し、発達段階に応じた考え方を働かせるようにしている。また、「パンダのキャラクター」の言葉で見方・考え方に注目できるようにしている。パンダの姿は見方と考え方で分けてある。 ・振り返りの場面や新たな問題を見いだす場面については、各問題の「まとめ」の後に「広げよう！理科の発想」という項目で、その単元の学習を生かした問題を考えられるようにしている。その問題は日常生活との関連があり、新たな問題につながっている。 ・他教科、日常生活や社会との関連については、「理科の世界たんけん部」等の項目で、全学年で扱われており、5年生では合計32の内容がある。例えば5年生「電流がうみ出す力 (p137)」では、モーターがスマホに使われていることを取り上げている。 ・考察については、全学年に位置付けられており、5年生では11か所ある。「パンダのキャラクター」のセリフが考察の見方・考え方の視点になっている。5年「ふりこのきまり (p147)」では、QRコードで話し合いの例を見て考えられるようになっている。
2 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「流れる水のはたらき」では、長良川を取り上げ、上流の郡上市、中流の美濃市、下流の岐阜市を学習する内容になっている。単元の最後には、自分の地域の河川を調べる活動を組み入れている。 ・自然災害との関連は、4年生から扱われており、4年生の「雨水のゆくえ」、5年生の「流れる水のはたらき」、6年生の「変わり続ける大地」では、学習した内容と実際の災害をつなげて取り扱っている。 ・デジタルコンテンツは、「動画」「実験のやり方・資料」「デジ活」「理科ノート」などがある。「デジ活」では実験結果をそのまま記録できたり、「理科ノート」はPDF化され、各市が使用している端末にダウンロードして使用できたりと工夫されている。 ・プログラミングは、6年生の「電気とわたしたちの暮らし」で取り扱い、電気を効率的に使う一つとして学習内容に組み込まれている。 ・4年生の「動物のからだのつくりと運動」では、パラリンピックの義足のランナーを取り上げている。また、イラストや写真では、外国人児童、肌の色の違う児童、車いすの児童などを取り上げ、多様な児童が協力して学ぶことができるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方や実験手順については、各実験に実験方法を確認するためのQRコードがついており、実験準備や予備実験における配慮が見られる。また、各単元で「問題をつかもう」→「問題」→「予想しよう」→「計画しよう」→「実験」→「考察しよう」→「まとめ」という流れで構成されている。学習の流れを統一することで、教師が単元を構想しやすくなり、児童が理科の見方や考え方を働かせやすくなるように十分配慮されている。 ・教科書を使って児童が自ら学び進める工夫は、単元の出口に、指導事項を端的に児童のノートを模した形式でまとめている点である。要点を得やすく、児童がノートにまとめる際の参考にできるようによく図られている。考察の例を確認できるQRコードもあり、考察を苦手とする児童に十分配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 297mm×210mm (A4判)、重さ 370g (5年生)～435g (6年生) ・UDフォントを使用している。3、4年生と5、6年生で本文のフォントサイズを変えている。大きめの写真やイラスト、図表を多用している。重要語句が太字とアンダーラインで強調されている。全体的に、緑色とオレンジ色を基調としている。 ・巻末では、全学年に、学習内容とプログラミングを関連付けた資料が掲載されている。

種 目【理科】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、「結論」という項目で問題に正対した結論と重要語句を記載している。単元後には「確かめよう」という項目で、まとめの問題を掲載している。実験器具の扱いは、QRコードで見ることができ、巻末にもまとめて掲載している。デジタル動画は、実験の様子や結果が多数ある。安全面の配慮は、「注意」マークを位置付け、禁止事項と理由を記載している。 ・理科の見方・考え方については、巻頭で発達段階に応じた考え方を紹介している。また、「キャラクターのココに注目」を見ることで見方・考え方に注目できるようにしている。 ・振り返りの場面や新たな問題を見いだす場面については、各単元の最後に「学んだことを生かそう」という項目で、その単元の学習を生かした内容を説明するようにしている。また「深めよう」の項目で学習内容を深化する場面も掲載している。 ・他教科、日常生活や社会との関連については、「理科のたまてばこ」「サイエンスワールド」「防災」という項目で、全学年で扱われており、5年生では合計36の内容がある。例えば5年生「電磁石の性質 (p154)」では、リニアモーターカーやMR I を取り上げている。 ・考察については、全学年に位置付けられており、5年生では21か所ある。キャラクターのセリフが考察の見方・考え方の視点になっている。児童キャラクターの言葉が考察のポイントになっていて、その言葉は全文を示さず「・・・」とすることで、考える場面を設けている。
2 岐阜県教 育振興基 本 計 画 (第3次 岐阜県教 育ビジョ ン)の基 本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の「土地のつくりと変化」では、火山活動として御嶽山の噴火の様子を取り上げている。 ・自然災害の関係は、4年生から扱われており、5年生「天気の変化」、「流れる水のはたらきと土地の変化」6年生「土地のつくりと変化」では、災害に備えるための工夫を調べる活動を取り入れ、地域のハザードマップについても触れている。 ・デジタルコンテンツは、巻頭にまとめて掲載されており、検索しやすい工夫がされている。 ・プログラミングは、6年生の「私たちの生活と電気」で取り扱い、具体的な事例を再現する活動になっており、3～5年生でプログラミング的思考を意識した内容を取り扱い、論理的思考力を身につけられるように工夫されている。 ・イラストや写真では、外国人児童や、髪の毛や肌の色の違う児童、車いすの児童なども登場し、多様な仲間とともに学ぶことができるようにしている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方や実験手順については、安定した実験結果を得ることが難しい場面を予測し、丁寧に説明している。例えば、4年生「水の3つのすがた」での水が凍る温度を調べる実験では、過冷却によって0度で凍らない現象を紹介し、その対処法について解説している。 ・教科書を使って児童が自ら学び進める工夫は、児童の見方を広げ、様々なやり方を試そうとする意欲を高めるためによく配慮されている点である。例えば、3年生、4年生における「電気」の学習では、導線と電池のつなぎ方の例を複数紹介している。また6年生「ものの燃え方と空気」では、ものが燃える前の空気と燃えた後の空気の違いを考える際に粒子モデルを使って思考させている。既習事項と粒子の数に着目させることで量的・関係的な視点が働かせられるようによく配慮されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 297mm×210mm (A4判)、重さ 454g (5年生)～531g (4年生) ・UDフォントを使用している。写真やイラスト、図表を多用している。重要語句は太字で強調されている。学習過程に合わせて、色分けされている。 ・巻末では、実験器具の操作方法に関して、器具を使う目的が端的に明記されている。

種 目【理科】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、「わかったこと」という項目で問題に正対した結論を記載している。学習の振り返りをチェックするようになっている。重要語句はまとめとは別に記載している。実験器具の扱いは、QRコードで見ることができ、巻末にもまとめて掲載していて、チェックリストがある。安全面の配慮は、「注意」マークを位置付け、禁止事項と理由を赤字で記載している。 ・理科の見方・考え方については、巻頭の「レベルアップのコツ」で発達段階に応じた考え方を紹介している。また、「理科モンスター」を使って考え方に注目できるようにしている。 ・振り返りの場面や新たな問題を見いだす場面については、各単元の最初に「できるようになりたい」、単元の最後に「できるようになった」という項目で、学習を振り返るようにしている。また、巻末に「理科モンスター」を使って、振り返るとよい内容を一覧にしている。 ・他教科、日常生活や社会との関連については、「もっとしりたい」という項目で、全学年で扱われており、5年生では合計30の内容がある。例えば5年生「電流と電磁石（p136）」では、電気自動車やそうじ機を取り上げている。 ・考察については、全学年に位置付けられており、5年生では24か所ある。「理科モンスター」を使って考察の視点を記載している。
2 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「地震による大地の変化」で、岐阜県本巣市の根尾谷断層を取り上げている。 ・自然災害との関係は、4年生から扱われており、4年生「雨水の流れ」、5年生「雲と天気の変化」、6年生「火山の噴火と地震」では、学習した内容と実際の災害をつなげて取り扱い、自分の命を守るためにできることについて考えさせている。 ・デジタルコンテンツは、該当ページに掲載されている。動かして体験できるインタラクティブコンテンツが配置されている。 ・6年生の学習ではフローチャートを使うことで、プログラミング的思考を使いながら水溶液を見分ける問題を取り扱ったり、スクラッチのソフトにあわせたブロックでプログラミング体験ができたりする工夫がされている。 ・イラストで、車いす児童を取り上げたり、男女を均等に登場させたり、様々な児童が平等に学びを高め合えるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方や実験手順については、安定した実験結果を得ることが難しい場面を予測し、丁寧に説明している。例えば、4年生「水の3つのすがた」での水が凍る温度を調べる実験では、過冷却によって0度で凍らない現象を紹介し、その対処法について解説している。 ・教科書を使って児童が自ら学び進める工夫は、児童の見方を広げ、様々なやり方を試そうとする意欲を高めるためによく配慮されている点である。例えば、3年生、4年生における「電気」の学習では、導線と電池のつなぎ方の例を複数紹介している。また6年生「ものの燃え方と空気」では、ものが燃える前の空気と燃えた後の空気の違いを考える際に粒子モデルを使って考えさせている。既習事項と粒子の数に着目させることで量的・関係的な視点が働かせられるようによく配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 257mm×210mm（AB判）、重さ 426g（3年生）～530g（6年生） ・UDフォントを使用している。写真やイラスト、図表を多用している。重要語句は、太字で強調されている。全体的に、青色を基調としている。 ・巻末では、実験器具の操作方法に関して、写真やイラストを多用している。

種 目【理科】
 発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、「結論」という項目で問題に正対した結論を記載している。単元後には「ふり返ろう」で重要語句がまとめてあり、「確かめよう」で問題を掲載している。実験器具の扱いは、巻末に実験器具をまとめて掲載していて、QRコードで見ることができる。安全面の配慮は、「きけん」マークを位置付け、禁止事項と理由を記載している。また、裏表紙に安全の手引きを一覧にして掲載している。 ・理科の見方・考え方については、巻頭、巻末で紹介している。また、児童キャラクターの言葉に「見方のカギ」「考え方のカギ」を付け、見方・考え方に注目できるようにしている。 ・振り返りの場面や新たな問題を見いだす場面については、結論の後に、「学びを広げよう」という項目で、新たな問題を見いだせるようにしている。「学習前の〇〇さん」「学習後の〇〇さん」という項目で、考えの変化に注目できるようにしている。 ・他教科、日常生活や社会との関連については、「資料」「科学のまど」という項目で、全学年で扱われており、5年生では合計45の内容がある。例えば5年生「電磁石が生み出す力 (p144)」では、ベルやモーターを取り上げている。 ・考察については、全学年に位置付けられており、5年生では26か所ある。児童キャラクターの言葉として話し合いの例を掲載している。
2 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の「流れる水と土地」では、河川の紹介で全国6カ所の一つとして、長良川を取り上げ、上流の郡上市、下流の岐阜市を取り扱っている。美濃市の川に設置されているブロックも災害を防ぐ工夫として紹介している。6年生「土地のつくり」では、岐阜県本巣市の濃尾地震による断層を取り扱っている。 ・自然災害との関係は、5年生から取り扱われている。地域のハザードマップにもふれている。 ・デジタルコンテンツは、該当ページに掲載されており、ショート映像が充実している。 ・プログラミングは、6年生の「電気の利用」で取り扱い、生活との関連付けを図りながら体験できるような教材を紹介している。 ・4年生の「体のつくりと運動」では、パラリンピックの義足のランナーを取り上げている。写真やイラストでは、髪の色や肌の色など違う様々な児童が掲載され、国籍の隔たりなく、協力して活動できるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方や実験手順については、巻頭に前年度の学習内容が端的にまとめられており、既習内容を想起しやすくする工夫がなされている。また、実験操作に込められた意図や結果から分かることを丁寧に解説している。教師が指導のポイントを把握しやすくなるとともに児童が理科の見方や考え方を働かせられるようによく配慮されている。 ・教科書を使って児童が自ら学び進める工夫は、コラムや確認問題を通して、学習内容と日常生活を関連付けて考えることができるようになっている点である。コラムがたくさんついており、理科が好きな児童が興味関心をもって読むことができるようになっている。また、理科で有効となる話型を紹介することで、理科が苦手な児童でも考察が書けるようによく配慮されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 272mm×210mm (AB 変形判)、重さ 425g (3年生) ~494g (4年生) ・UDフォントを使用している。写真やイラスト、図表を多用している。3、4年生と5、6年生で本文のフォントサイズを変えている。重要語句は太字・黄色囲みで、見方・考え方がピンク囲みで強調されている。全体的に、ピンク色と緑色、青色を基調としている。 ・巻末では、各学年で主に育成を目指す問題解決の力についての振り返りが掲載されている。

種 目【理科】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめについては、「まとめ」という項目で問題に正対した結論を記載している。単元の最後に「まとめノート」でまとめ方の例が示してある。「たしかめよう」に、単元まとめの問題があり、説明をQRコード「スマート解説」の動画で見ることができる。実験器具の扱いは、単元ごとに掲載しており、QRコードで見ることができる。安全面の配慮は、「注意」マークを位置付け、禁止事項とその理由を記載している。 ・理科の見方・考え方については、巻末で各分野の見方、発達段階に応じた考え方を紹介している。また、「児童キャラクター」の吹き出しの言葉に色が着けてあり、そこから見方・考え方を分かるようにしている。 ・振り返りの場面や新たな問題を見いだす場面については、単元後に「活用しよう」という項目で、学習を生かした日常の問題を考え、振り返るようにしている。 ・他教科、日常生活や社会との関連については、「くらしとリンク」「理科の広場」「ウィズアース」という項目で、全学年で扱われており、5年生では合計23の内容がある。例えば5年生「電流と電磁石 (p179)」では、電磁石じょうシステムを取り上げている。 ・考察については、全学年に位置付けられており、5年生では14か所ある。児童キャラクターの言葉として考察の例を掲載していて、アンダーラインが見方・考え方になっている。
2 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の雪の多い地域として、岐阜県白川村の白川郷が、6年生の「大地のつくりと変化」では、瑞浪市の化石が取り上げられている。 ・5年生の「雲と天気の変化」、「流れる水のはたらき」6年生「大地のつくりと変化」では災害を防ぐ取り組みを紹介し、マイ・タイムラインや防災マップ作りにつなげている。 ・デジタルコンテンツは該当ページに掲載されている。インタラクティブコンテンツが増え、児童が操作しながら思考力を高められる工夫がされている。 ・プログラミングは、電気を無駄なく使うことを目的としたプログラムを体験する活動を設定している。 ・写真やイラストでは、4年生「動物のからだのつくりと運動」において、パラリンピックの陸上選手を取り上げたり、車いす児童が登場したりするなど、特別支援や人権への配慮がされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習の進め方や実験手順については、巻頭でICTの積極的な活用を呼び掛けており、ICTを有効に活用できる場面を分かりやすく紹介している。ICTに不慣れな教員でも、抵抗感をもたず、授業に組み込むことができる。また、巻末に算数との関連性や、言語活動の例などを紹介している。教師が教科横断的な視点で単元を構想したり、授業の中に言語活動を位置づけたりする際にも参考にできる工夫がされている。 ・教科書を使って児童が自ら学び進める工夫は、コラムで、学習内容と日常生活の関連を幅広く紹介している点である。特に6年生「てこのはたらき」では、身の回りの道具だけでなく、介護の場面でもてこが生かされていることを紹介している。日常の中にある理科の要素を見つける視点が広がるようによく配慮されている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 257mm×210mm (AB判)、重さ 382g (5年生) ~427g (6年生) ・UDフォントを使用している。3、4年生と5、6年生で本文のフォントサイズを変えている。写真やイラスト、図表を多用している。重要語句は太字で、見方・考え方は緑色のラインで強調されている。全体的に、3、4年生はオレンジ色、5、6年生は青色を基調としている。 ・巻末では、各学年で主にはたらかせた理科の見方・考え方のまとめと実生活への活用が掲載されている。思考力・判断力の育成を目的としたデジタルコンテンツ(WaCBT)がある。

【 種 目 】 生 活

【 発 行 者 】 7 者

2 東京書籍

4 大日本図書

11 学校図書

17 教育出版

(26 信州教育出版) 見本なし

38 光村図書出版

61 新興出版社啓林館

種 目【生活】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面や衛生面に關わる配慮が必要な活動には、もれなく「てをあらおう」「どうぐをたたく あんぜんにつかおう」と示されている。また、安全に学習や生活をするために必要な習慣や技能が、「やくそく」として掲載され、注意点が明確になっている。 ・児童が見方や考え方を働かせている姿を絵や写真、吹き出しで例示することで、大変イメージしやすくなっている。 ・意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養うために、仲間と関わりながら活動に取り組む様子や学習を振り返る様子が、写真や挿絵、吹き出しで分かりやすく示されている。 ・幼児教育との円滑な接続を実現するための学習内容は、各学校の実態に応じたスタートカリキュラムを編成することができるよう配慮されている。また、中学年以降の学びの基盤として活用できるよう「かつどうべんりてちょう」が掲載されている。 ・上巻「たのしいあきいっぱい」では、「見付ける」「比べる」「たとえる」などの気付きの質を高めるとともに、問題解決的な学習活動として十分に工夫されている。 ・写真や絵、新聞、動作化、ICT 機器を活用した表現作品など、学習内容や発達段階に合わせた多様な表現方法を例示している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に關わる資料として、上巻では、昔から伝わる遊びが、下巻では季節に応じた各地の伝統行事や人々の暮らしが扱われている。また、伝統行事の中では高山祭が紹介されており、親しみやすい素材が扱われている。 ・下巻では、「どきどきわくわくまちたんけん」等の単元で、公共施設や店、農家等について調べたり表現し合ったりする活動を通して、地域への愛着を深められるような構成となっている。 ・ICT 機器を使いながら活動する児童の写真や挿絵が多く使用されていたり、下巻巻末では活動したことについてデジタルアルバムやデジタル紙芝居等にまとめる方法が紹介されていたりするなど、ICT の活用の方法が大変わかりやすく示されている。 ・活動の方法を示すために、上下巻合わせてQRコードが84ヶ所提示されている。このため、児童は必要に応じて主体的に調べることができるよう、大変分かりやすい工夫がされている。 ・学級での全体交流や少数交流の活動や、一人の児童がつぶやいたことについて返答している吹き出しが大変多く使われており、仲間との関わりをととても大切にした構成となっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容を表した小単元名と活動のめあてが分かりやすく示され、実際の授業がイメージしやすい構成になっており、生活科の指導経験が少ない教員でも、質の高い授業づくりが可能なように工夫されている。また、学びを深めるための発問例、掲示物や板書の例も随時挿絵で示されており分かりやすい。 ・小単元名の下に、主な評価規準を示すマークが付いており評価の参考にすることができるよう配慮されている。 ・巻末資料の「かつどうべんりてちょう」では生活科に必要な考え方やまとめ方がイラストや実際の作品などを例に示してあり大変分かりやすい。QRコードを読み込むとさらに詳しく問い合わせながら説明しているため、児童も教師も大変利用しやすいものとなっている。
4 表現や体裁等に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 上巻 128P 重さ 346g 下巻 120P 重さ 311g ・小単元名等を同じ位置に配置し、さらに上巻に7種類の花、下巻に6種類の野菜の種からの変化を写真で掲載し、分かりやすいようによく配慮されている。 ・上下巻末に、生活上必要な習慣や技能等を活動別にまとめた資料「かつどうべんりてちょう」を掲載している。上巻末の「ほんとうのおおきさ いきものずかん」では、1cmごとにラインを引き、大きさをとらえやすいように大変よく配慮されている。

種 目【生活】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面、健康面への配慮が必要な活動に、「てをあらおう」「ちゅうい」「やくそく」が示されている。資料「がくしゅうどうぐばこ」では、交通安全、自然災害、防犯について取り上げ、自分の身を守るための習慣や技能が身につくように配慮されている。 ・身近な生活に関わる見方や考え方を働かせることができるように、絵や写真、吹き出しを用いて例示する工夫をしている。 ・友達との伝え合い、学級での話合いの場面を繰り返し取り上げ、仲間と関わりながら学びを深め合うことができるようになっている。 ・幼児教育や中学年以降への円滑な接続として、上巻冒頭にスタートカリキュラムに配慮した学習内容、下巻には3年生以降の学習につながるような流れに工夫されている。 ・上下巻冒頭「やってみようせいかつか・生活科」では、気付きの質を高めるための視点が大変分かりやすく示されており、その視点を生かした活動として「あきだすき（上巻）」「楽しさひろがれわたしのおもちや（下巻）」が位置付けられている。 ・「せいかつことば」を設け、語彙力の向上とともに、豊かな表現力の育成や表現活動の充実を図ることができるように配置する工夫がされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に関わる資料として、上下巻ともに、季節に応じた行事や祭りが紹介されており、季節と地域の行事が結び付きやすいように、関連させてある。 ・上巻では、夏季休業日前に「つうがくろでみつけたよ」の単元で通学路と周囲の様子について学び、下巻では、「春の町をさんぽしよう」「わたしの町はっけん」「町のキラリひろがれ」の単元で、公共施設、店、農家、地域の人について、調査し、まとめ、発表する学習が位置付けられており、地域への愛着を深める構成、配列となっている。 ・オンラインでインタビューをしたり、大型モニターを使った発表をしたりするなど、ICT 機器を使った授業の工夫について提示されており、児童が ICT 機器を身近にとらえ抵抗なく活用できるよう示されている。 ・活動の方法を示すために、上下巻合わせてQRコードが103ヶ所提示されている。また、QRコードを利用すれば土づくりや種の蒔き方などを動画で見られるなど、活動を支援できるよう多くの動画が設定されており、必要に応じて主体的に調べることができる。 ・児童机を2つまたは4つつけて活動する写真や挿絵が使われており、共に学ぶ姿が印象付けられる。学級全体への発表の活動については上下巻共に提示されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動場面での児童の動き、表情やつぶやきが挿絵で多数掲載されている。生活科の指導経験が少ない教員でも、それを手がかりにして児童の意識の流れや気付かせたいことがイメージしやすく、実際の授業づくりの参考になる。また、板書や児童の発言例なども多数示されている。 ・各活動単位で、学習カード・作品等、児童の表現物を多数例示し、評価の参考となるようによく配慮されている。 ・「せいかつことば」や発展的な活動へのヒント等、内容も豊富で児童が各自の興味・関心のあることについて、自学・自習に活用していけることが期待できる。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 上巻 136P 重さ 396g 下巻 124P 重さ 311g ・上下巻とも小単元の1ページ目の同じ位置に小単元名を配置している。上巻は小単元の終末ページの同じ位置に振り返りを促す「きもちマーク」を配置している。 ・上下巻末に、生活上必要な習慣や技能等を活動別にまとめた「がくしゅうどうぐばこ」を掲載している。

種 目【生活】

発行者【11 学校図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面や健康面について、「てあらい・うがい」「やくそく」を示して注意喚起し、健康的な学校生活や日常生活を送ることができるよう配慮されている。 ・キャラクターのつぶやきによって、児童が生活経験を思い出したり、自然に身近な生活に関わる見方や考え方を働かせたりしながら活動に取り組むことはできるようになっている。 ・各単元の終わりに、学習の記録などをもとに振り返る場面が設けられており、自分の成長に気付くことができるよう配慮されている。 ・上巻冒頭で幼児教育との接続であるスタートカリキュラム、上下巻において中学年以降の社会科学や理科へとつながる「地域と生活」「公共物や公共施設の利用」「自然や物を使った遊び」に関わる内容で構成された単元が位置付けられている。 ・「見付ける」「比べる」「たとえる」など気付きの質を高めるために繰り返し試行錯誤を行う場面として、「あきをたのしもう（上巻）」「作ってあそぼううごくおもちゃ（下巻）」などの学習活動が位置付いている。 ・表現活動の充実を図るための例として、「まなびかたずかん」のページに観察カード、写真、作文、新聞などのまとめ方が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に関わる資料として、上巻では、昔から伝わる遊びが、下巻では季節に応じた各地の伝統的な祭りが扱われており、全国的な素材と、身近な素材の両方について学んだり活動したりすることができる。 ・下巻では、春の時期に「まちたんけん」、秋の時期に「あの人に会いたいな」の二つの単元が配置されており、年間を通して地域にかかわる活動が位置付けられている。 ・上巻ではタブレット端末、デジタルカメラを使った記録について、下巻ではさらにインターネットを使った調べ学習について、道具の使い方として説明がなされている。 ・活動の方法を示すために、上下巻合わせてQRコードが61ヶ所提示されている。主に写真を使った資料が提示されており、作業的な活動の場面では、動画で説明もされている。 ・上下巻とも巻末に「まなびかたずかん」として、他の児童に話すときに大切なこと、人の話を聞くときに大切なこと、まとめたことを発表するときの方法についてなど、仲間と関わる際の大切なことが分かりやすく示されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する際に、児童に気付きを促すヒントになる言葉がけや、学びを深めるための掲示物、板書例が挿絵で分かりやすく示されている。生活科の指導経験が少ない教員でも実際の活動、必要な支援がイメージしやすい。 ・「まなびかたずかん」では観察の際の視点や方法、話し方などが記載されており、児童だけでなく教員も指導の手がかりとなるようよく配慮されている。 ・本文中の「ものしりノート」と巻末の「まなびかたずかん」が対応しており、必要な時に何ページを参考にすればよいのか、児童に分かりやすいマークを使い掲載されている。それを手がかりにして、児童は自ら進んで学習することができる。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・ AB判 上巻136P 重さ 354g 下巻128P 重さ 335g ・小単元名等を同じ位置に配置している。また、目次には色分けして単元名と学ぶ時期と期間が掲載され、ページ数の色も同じ色分けで表す配慮がされている。 ・上下巻末に、生活上必要な習慣や技能等を活動別にまとめた「まなびかたずかん」、各単元末の「ものしりずかん」「ものしりノート」で生物や遊びなどの資料が十分収録されている。

種 目【生活】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面、健康面に関する生活上必要な習慣について「やくそく」で示されている。アレルギーへの対応が必要な場面に注意を促す記載がされており、大変分かりやすく工夫されている。 ・巻末「学びのポケット」で、いろいろな見方や考え方をについて座標軸を用いて分かりやすく示している。また、表現活動の具体例も分かりやすく示されている。 ・各単元に、振り返りの活動「なにをかんじたかな」が位置付けられ、自分の振り返りと同時に、振り返りを仲間と交流して認め合ったり、振り返って捉え直したりする単元構成となっている。 ・幼児期に親しんだ絵本のキャラクターを使用することで、生活科のイメージを膨らませる工夫がされている。また、中学年以降への学びとつなげるために、「理科へのまど」「社会へのまど」といった特設ページがある。 ・各単元に「ヒント」が設けられ、「見付ける」「比べる」「たとえる」などの気付きの質を高めるための学習活動を繰り返し行うことができるように配慮されている。 ・「はてな」のキャラクターが「なぜ」「どうしたい」などの問いかけをすることで、気付きの質を高めることにつながる工夫がされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に関わる資料として、上巻では夏と冬の時期の各地の祭り、下巻では名所、旧跡、料理、四季に応じて行われる祭りについて紹介されており、児童が日本の文化に親しみが持てるよう工夫されている。 ・「まちが大すきたんけんたい」「えがおのひみつたんけんたい」では、地域素材を使い児童の願いや疑問に即した構成がされており、また、単元終盤には、まとめ発表する場を設けることで、地域への愛着を深める構成となっている。 ・上下巻ともに、町探検や飼育・栽培学習を行う際の記録方法としてタブレットの使用が紹介されていたり、巻末の学び方の補助資料でコンピュータの使い方について示されていたりするなど、児童にとって ICT 機器の利用が身近なものに感じられるよう十分な工夫がなされている。 ・ワークシートや伝統行事の理解を深める動画や画像が閲覧できるよう上下巻合わせてQRコードが67ヶ所提示されている。 ・伝える活動に合わせて、ページ左上に「つたえる」と表記し、互いに伝え合う場での方法やポイントを示し、仲間との関わりが意識できるよう工夫している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ下部に「はっけん ろうど」が記載されており、児童の学びの流れがわかりやすくなっている。また「はてな」により児童に具体的な問いかけがなされているため、教師も学習の流れや発問をイメージしやすい。 ・生活科の教科目標から、育みたい6つの力を抽出し、随時ページ左上部に示してある。付けたい力が分かりやすいので、生活科の指導経験が少ない教員も活動のポイントを掴みやすいようよく配慮されている。 ・キャラクターや写真で登場する児童たちの表情やせりふ等が変化に富んで楽しく、児童にとって魅力的である。児童が興味をもち自分から教科書を読みたくなるような工夫がある。QRコードの位置が統一されており、児童がわかりやすいようよく配慮されている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 上128P 重さ 318g 下128P 重さ 316g ・育てたい力をサイコロで同じ位置に明示し、「やくそく」「ヒント」等の情報も同じ位置に配置して、分かりやすい工夫が十分にされている。 ・上下巻末に「学びのポケット」、上巻の適所に「いきもの わくわくくいず」を、下巻の適所に「季節みつけ」を配置し、生活に必要な習慣や技能、季節の生物等の情報を多く掲載している。

種 目【生活】

発行者【38 光村図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面、健康面では、「あんぜん」「けんこう」などの注意喚起のマークを付けたり、巻末資料「ひろがる せいかつ じてん」で注意を示したりしている。また、QRコードも位置付けられ、安全に関する動画を提示する工夫がされている。 ・身近な生活に関わる見方や考え方を働かせることができるように、学び方のヒントとして試行錯誤のポイントが六角形で囲まれて示されている。 ・単元末の振り返りのページで、獲得した学びを言語化し、振り返ることで気付きを自覚したり、関連付けたり、捉え直したりしている児童の姿が具体的に示されている。 ・幼児教育での学びをイラストで示して関心をもたせ、関連する小学校での学びを写真で示すことで、活動の手がかりとなるような工夫がされている。また、生活科の学びを社会科や理科に生かすことができるような活動が下巻に示されている。 ・「見付ける」「比べる」「たとえる」などの表現活動を生かす学習活動として、「あきともだち(上巻)」「あそんで作ってくふうして(下巻)」の単元が設けられている。 ・発表や対話、絵、文章などの多様な表現方法を示すことで、適切な表現方法を選択できるようになっている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に関わる資料として、下巻で、四季に応じて行われる祭りやその頃の様子、給食について紹介されており、児童が四季の移ろいと文化に親しみがもてるよう工夫されている。 ・下巻では、年度当初の「まちをたんけん大はっけん」と年度後半の「みんながつかうまちのしせつ」「もっともっとまちたんけん」「みんなにつたえようすてきなまち」の4単元で、公共施設、店、農家、幼稚園などを調査し、まとめ、伝える活動を行いながら、地域への愛着を深める構成となっている。 ・メールやオンライン通話での情報収集、情報機器を使ったまとめや発表などの様子を紹介し、ICT機器を利用した学習に対し、児童が抵抗なく取り組めるよう配慮している。 ・活動の際、注意すべき点などを「どうぐ」「けんこう」「あんぜん」「ちがつかない」と表記したQRコードが45ヶ所提示されている。 ・どの単元でも多様な児童の反応を「こんなこともあるかもね」というコーナーで紹介し、互いに考えを認め合い、ともに学ぶことができる仲間づくりへの工夫がなされている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに学習課題となる言葉が例示され、それに合わせた児童の発言例や観察カードの例が示されているため、生活科の指導経験が少ない教員にも単元のねらいや活動のポイントがつかみやすく、実際の授業づくりのイメージがもてるようよく配慮されている。また、別冊資料の「ひろがる せいかつ じてん」では、発表の仕方、まとめ方などが詳しく示してあり、児童だけでなく教師の指導の参考にもなる。 ・単元の終わりにはページ右下に「ふりかえり」が示されており、教師の評価の参考になる。 ・すべての単元の本文の中には、問いかけだけでなく学び方のヒントになる例が示されており、児童の主体的な学びにつなげやすい。さらに絵本作家のイラストがメインに据えられており、絵本を読み進めるように学習ができるため、児童の興味を強く引きつけるものとなっている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判 上140P 重さ 402g 下128P 重さ 337g ・活動のヒントや小単元の振り返りをそれぞれ同色で示し、注意することも同じマークと飾り枠で明示し、注意が向くように配慮されている。 ・上下巻末に生活上必要な習慣や技能等を活動別にまとめた「ひろがる せいかつ じてん」を掲載し、別冊になるように、よく工夫されている。

種 目【生活】

発行者【61 啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全面、衛生面では、手洗いや換気などの感染症への対策を「がくしゅうずかん」の「けんこうにすごそう」のページで丁寧に示して解説している。 ・吹き出しや記録カードの記述が、身近な生活に関わる見方や考え方を働かせて活動をするためのヒントとなるように十分工夫されている。 ・単元末では、単元の学習を通して気付いたことやわかったこと、できるようになったことを確かめることができるよう「できるかなできたかな？」によって視点を大変分かりやすく例示している。 ・幼児教育との円滑な接続として「すたあとぶつく～がっこうだいすきいちねんせい～」、中学年以降へのつながりとして「ステップアップブック～みらいにむかって～」を単元として設定する工夫をしている。 ・気付きの質を高めるための多様な学習の例が示されており、写真の横に学びのキーワードとして「くらべる」「ためす」「くふうする」などの言葉も記載されていてわかりやすい。 ・思考を深め、豊かな表現力を身に付けることができるように、絵、動作化、劇化、ICT活用などの様々な表現活動の方法が提案されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事に関わる資料として、上巻では、夏と冬の祭り、下巻では、四季に応じた各地の祭りを紹介し、日本の伝統に親しめるよう工夫されている。 ・1年生前半では「がっこうのまわりをあるいてみよう」「たのしいなつやすみ」の単元で、地域で活動するときの様子について、下巻では、「とびだせ！町のたんけんたい」「もっと知りたいたんけんたい」の単元で、地域に着目しより深く地域の理解を深める活動を位置付け、地域への愛着を深める構成、配列となっている。 ・調査活動、飼育・栽培活動、まとめを行う際にタブレット端末を使用している写真を多く提示し、ICT機器の利用を促している。 ・上下巻合わせて61ヶ所のQRコードがあり、写真や動画、図など使って、動植物の図鑑、工作のヒントや道具の使い方を提示している。 ・各単元の学習したことを伝える場面では、発表の様子を図で表し、伝え方や話の聞き方など仲間との学び合い方が明確に表されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の構成が「わくわく(単元の導入)」「いきいき(活動)」「ぐんぐん(伝える・ふりかえり)」という構成になっており、児童にとって学びやすく、教師にとって指導しやすい構成になるよう大変よく配慮されている。「いきいき」のページでは観察カードの例や児童の発言のヒントが記載されている。板書の例もいくつか記載されており、生活科の指導経験が少ない教員でも大変イメージがしやすい。 ・「ぐんぐん」のページでは「できるかな できたかな？」のコーナーがあり、教師の指導と評価の手がかりとなる振り返りの視点が示されている。 ・ページの右下には「めくり言葉(次の活動への思いや願い)」が記載されており、指導の連続性が教科書から分かりやすい。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・ AB判 上146P 重さ 323g 下136P 重さ 286g ・ ヒントや注意事項、振り返りをそれぞれ同色で同じ位置に配置し、見やすくなるようによく配慮されている。 ・ 上下巻末の生活上必要な習慣や技能等を活動別にまとめた「がくしゅうずかん」、下巻末の「ステップブック」、適所に配置した「びっくりずかん」で生活に必要な習慣や技能だけでなく、学びの振り返りや季節の生物や行事等、多岐にわたる資料を十分に掲載している。

【種目】 音楽

【発行者】 2 者

17 教育出版

27 教育芸術社

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽のもと」「まなびナビ」には、音楽を形づくっている要素やその働きに着目できるよう示されている。また、「音楽を表すいろいろな言葉」には、音楽を形づくっている要素やイメージや感情などを表す言葉が例示されている。 ・曲想をつかむための補助発問が「まなびナビ」で示され、曲想を捉えた上で思いや意図をもって演奏できるような構成になっている。 ・「学習マップ」に年間の学習内容（題材ごと）や学習の進め方（3年以上）が示されている。「もっとあそぼう」では発展的な学習が示されている。 ・各学年8つの題材をバランスよく扱っている。音楽を形づくっている要素「音楽のもと」を要とし、表現及び鑑賞の教材を組み合わせることで、既習事項を生かし系統的・発展的に学ぶための構成になっている。 ・見開きに学習のねらいと「まなびナビ」が示され見通しを持った学習ができるよう配慮されている。また発達段階に合わせて主体的・対話的な深い学びができるよう、中・高学年では「学び合う音楽」として仲間と表現を高めるポイントや方法が例示されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や郷土の伝統音楽については、2～6年生で日本や地域の音楽について学ぶ題材が位置付けられ、和楽器の演奏や太鼓のリズムづくりなどが掲載されている。また、各学年の巻末には日本のうたが掲載されている。岐阜県については「郡上八幡の盆踊り」の写真が掲載されている。日本の音楽の旋律の特徴を学ぶことができるよう、生活の中の音楽や文化、世界の音楽との比較が示されている。 ・各学年で二次元コード「まなびリンク」が位置付けられている。「まなびリンク」マークが付いている教材は、ICT機器で閲覧ができ、旋律の動きを捉える動画や、奏法・解説動画、ワークシートなど、イメージを広げたり技能を習得したりするのに役立つ内容になっている。二次元コードの掲載数…全学年で115 ・英語の歌が掲載されている。諸外国の音楽や文化のよさに触れ、手話や踊りや歌で楽しめるよう、各学年の実態に応じた教材が位置付けられている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに「学習のめあて」や「音楽のもと」「まなびナビ」で紙面が構成されている。「音楽のもと」には学びの要となる音楽を形づくっている要素、「まなびナビ」には音楽的な思考を促す内容や学び方が示されている。また、授業の流れが発達の段階に応じて示されており、教師も児童も見通しをもって活動ができる構成になっている。 ・児童自ら学んだ内容を振り返りながら学習を進めていけるように「前の学習を思い出そう」には関連のあるページが示されている。また、学校や家庭から二次元コードで検索したり、身近な生活と音楽をつなげて音遊びを楽しんだりできるよう、「もっとあそぼう」という発展的な学びを紹介したりするコーナーがあり、自主的に学べるようになっている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ 全学年 211mm×260mm 厚みと重さ 1年…79P 173g 6年…83P 192g ・色覚特性をはじめ、様々な特性をもつ児童が等しく学習をすすめることができるよう、写真上の文字の配置や配色、見やすい色の組み合わせやレイアウト、表現方法、UDフォントの使用など配慮がされている。 ・巻末には「音楽のもと」のまとめや「音楽を表すいろいろな言葉」の例、リコーダーの運指表、楽典資料、日本の歌が掲載されている。

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターの吹き出しや「見つける」などのアイコンで、曲想と「音楽を形づくっている要素」との関わりに気付きを促す内容や活動例、具体的な視点が示されている。また、知覚と感受を結びつけるワークシートが提示されている。 「考える」のアイコンでは、思いや意図をもって表現を工夫するポイントが示されており、キャラクターの吹き出しでは、音楽を形づくっている要素の働きに着目し、比較して確かめたり考えたりしながら、どのような思いや意図をもつことができるかについて例示がされている。 「学習マップ」には年間の学習（領域・分野ごと）が示されている。また、題材ごとに「ねらい」や次の学びを促す「振り返り」が示されている。 低学年は10題材、中学年は9題材、高学年は7～8題材を扱っている。音楽を形づくっている要素や内容を要とし、表現及び鑑賞、創作等の教材を組み合わせることで、学年や題材を行き来・対比しながら、系統的・発展的に学ぶための構成・配列になっている。 学習活動を「思考力、判断力、表現力等」「知識」「技能」の資質・能力に対応するように構成し、それらを表すアイコンで「どのように学ぶか」を示して主体的な活動ができるよう配慮されている。また、人数の指定や吹き出し、キャラクターなどから、主体的・対話的な学びの内容を具体的に例示している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学年において日本や地域の音楽について学ぶ題材が位置付けられ、表現や創作、鑑賞の幅広い活動が盛り込まれている。岐阜県について二次元コードの「郷土の音楽」には、郡上節と高山祭の屋台行事の説明、調べ学習の指針が示されている。また、全学年の裏表紙に地域の文化や芸能が紹介されている。 各学年で二次元コードが設定されており、そこから「ムーブの部屋」という学習サポートコンテンツにアクセスができる。音楽づくりでは、思いや意図に合う音楽をつくるために、リズムカードの組み合わせを試行錯誤ができ、選んだ音やリズムを再生して確かめることができる。二次元コード掲載数…全学年で201 手話や体の動きを取り入れた音楽活動や英語の歌の掲載がある。諸外国の音楽や、各地域の特徴や文化との関わりが取り上げられ、中高学年には様々な世界の音楽が比較鑑賞の形で掲載されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 題材のねらいと扱う教材の学習目標が示されている。学習活動の具体が「思考力、判断力、表現力等」「知識」「技能」の資質・能力に対応するアイコンで示されている。音楽的な思考を促すキャラクターの吹き出しには児童の考えの例が示されている。加えて、各題材の最後には学びを振り返る内容が示されている。 児童が自ら関心をもって読み進められるよう、特集コラムには生活や社会の中での音や音楽の役割等について掲載されている。演奏形態やジャンルが多様で、学習内容と関連付けながら幅広く音楽の魅力を伝える内容になっている。また、学校や家庭から二次元コードで検索したり、わらべうたや手遊び歌などを家で家族と楽しんだりできるよう、自学や自習につながる「ステップアップ」や「チャレンジ」という発展的な学びを紹介するコーナーがある。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ 全学年211mm×261mm 厚みと重さ 1年…83P 171g 6年…87P 182g 色覚特性をはじめ、様々な特性をもつ児童が等しく学習をすすめることができるよう、写真上の文字の配置や配色、見やすい色の組み合わせやレイアウト、表現方法、UDフォントの使用といった配慮がされている。 巻末には、音楽を形づくっている要素別にまとめられた「振り返りのページ」、リコーダーの運指表、楽典資料が掲載されている。

【 種 目 】 図画工作

【 発 行 者 】 2 者

9 開隆堂出版

116 日本文教出版

種 目【図工】

発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・資質、能力の三つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性等」の涵養が成されるよう全題材で学習のめあてを設定し、「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の5つの分野が目次にアイコンとして表示されている。また、学習のめあてに重点的に育てたい資質・能力を示し、題材の末尾に振り返りが位置付けられている。 ・題材ごとに設定された学習のめあてがわかりやすく、他教科と関連させて学習できるように、題材の末尾に関連教科を示し、発展性に配慮している。 ・活動中の写真や作品・図が大きく掲載され、自ら考えたり感じたりして学習を深められるようにキャラクターが学習のヒントを投げかけるなど、吹き出しや作品のコメント等において、児童が興味、関心を高くもちながら取り組めるように工夫がされている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の風土や文化に根差した伝統の技について、作家や職人から直接作品づくりを学ぶ様子が写真で示されているため、日本の伝統文化に興味をもてるよう工夫されている。また、地域の美術館や街中のオブジェ等、本物の作品に出会う楽しさを味わうことができるページが用意されている。東濃地域でよく扱われる粘土の題材は、全学年に配置されている。巻末の「学びの資料」では、イラストを用いて具体的な手順の紹介をしている。 ・全学年を通して、用具、技法の動画や参考作品の視聴が可能な二次元コードが掲載されている。掲載場所も左ページ下に固定され、掲載内容も記載されていて扱いやすい。また、ICT機器を使った鑑賞活動やアニメーションづくりの題材が例示されている。動きの瞬間を捉える題材では、ICT機器を活用する例が示されている。 ・全学年を通して、願いをもつためや発想するためのヒントが吹き出しで添えられており、願いの実現に向けて試行錯誤する楽しさを実感することができるような工夫が図られている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導の充実という点について、題材ページには、配慮すべき内容を発達段階に応じて、「あんぜん」、「安全」の囲みを設け、写真とともに注意事項を説明している。また、二次元コードから道具の基本的な使い方の動画が見られるようになっている。巻末ページにも道具の基本的な使い方を掲載してある。 ・どの題材においても、児童の製作途中の写真や発想途中のつぶやきが吹き出しで書かれており、児童が主体的に考え、取り組めるように工夫されている。また、出来上がった作品を鑑賞し合ったり、仲間の作品とつなげたりして楽しむ写真も掲載されている題材もある。 ・東濃の地域題材で長年取り組まれてきた焼き物について、6年間を通して取り上げられている。また、基本的な技法や扱う道具についても分かりやすく図示されている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版 (210×297mm) 総ページ数 65～69ページ 重量 248～261g ・学年に応じてフォントの大きさを変えたり、カラーユニバーサルデザインの考えから配色などの配慮がなされたりしている。見開き2頁で1題材を構成している。 ・巻末に「学びの資料」として、各学年の題材に関わる道具の使い方や素材を8頁にわたって図示し、繰り返し指導できるように図られている。また、「タブレット端末をつかおう」の頁を発達段階に応じて掲載している。

種 目【図工】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・資質、能力の三つの柱である「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学習に向かう力・人間性等」の涵養が成されるよう全題材で学習のめあてを設定し「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の5つの分野を目次にアイコンとして表示し、どの題材もバランスよく配置されていることがひと目で分かる。また、発想を広げるためのヒントを示し、児童が安心して試行錯誤できるようになっている。題材の末尾には振り返り活動を通して、児童自身が感じたり考えたりしたことを自覚できるようになっており、学びに向かう力や人間性等の涵養を図るよう工夫されている。 ・一つの題材の中で付けたい力に合わせて、素材・表現方法が複数紹介されているため、児童や地域の実態に応じて素材を選んで指導することができる。 ・活動中の写真や作品・図が豊富に掲載されているだけでなく、児童やキャラクターの言葉を通して、児童が造形的な見方や考え方を働かせて主体的・対話的な学習を実現できるよう工夫がされている。また、鑑賞や共同製作など、他者と相互に関連し、よさを認め合ったり学び合ったりする題材が豊富に掲載されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの題材に関連した作家の作品や文化財が紹介されており、社会とのつながりを感じたり、創作の魅力に気付いたりするよう工夫されている。さらに、作品を使って地域をよりよくする提案・発信ができる題材が配置されている。巻末の「材料と用具のひきだし」では、製作手順、用具の扱い方や表現効果を、図やイラストで分かりやすく示している。特に粘土題材では、成型方法のほか、乾燥、素焼き、施釉、本焼きの過程が示されており、地域素材のよさが感じられるようになっている。 ・全学年を通して、用具、技法の動画や参考作品の視聴が可能な二次元コードが掲載されている。とくに用具の使い方については、表現方法を広げるために必要であると考えられる別の用具まで網羅されている。また、ICT機器を使ったアニメーションづくりの題材では、製作過程がわかりやすく写真で示されている。 ・全学年を通して、願いをもつためや発想するためのヒントが吹き出しで添えられている。また、収集する材料や表し方のヒントとなる写真が豊富で、個々の児童が自己決定するための工夫が図られている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の経験年数に関わらず、どの題材でも二次元コードを使うことで、製作の手順や道具の安全な使い方を視聴し、学習指導に活かすことができる。巻末ページにも道具の基本的な使い方を掲載してある。とくに、木版画の指導においては、彫刻刀の種類や彫り方の違いを感じ取り、児童が意図的に選択できる資料がある。 ・どの題材においても、児童の製作途中の写真や発想途中のつぶやきが吹き出しで書かれており、児童が主体的に考え、取り組めるように工夫されている。また、作品例が多様に掲載され、児童が自分の思いを表現することに憧れをもって取り組めるように工夫されている。 ・東濃の地域題材で長年取り組まれてきた焼き物について、6年間を通して段階的な指導が行えるよう題材の種類や配列が工夫されている。また、基本的な技法や扱う道具についても分かりやすく図と写真で示されている。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版 (212×297mm) 総ページ数 64～68ページ 重量 232～246g ・カラーユニバーサルデザインについて、配色やフォントの大きさなどの配慮がなされており、ほとんど見開き2頁で1題材を見やすく構成している。参考となる写真が多数掲載されており、児童の発想を引き出す工夫がされている。 ・巻末の「材料と用具のひきだし」では、各学年の題材に関わる材料などの扱い方を8頁にわたって丁寧に示しており、一斉指導においても、児童が自分で参考にする際にも使いやすい。

【種目】 家庭

【発行者】 2 者

2 東京書籍

9 開隆堂出版

種 目【家庭】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つめよう」→「計画しよう・実践しよう」→「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで学びを展開する構成である。題材のはじめに問いかけや「家庭科の窓」で生活の見方・考え方の視点を示し、ステップごとに「めあて」と「振り返り」を位置づけ、問題解決的な学びを繰り返すことを促している。 ・題材数は、5年生8題材・6年生7題材あり、2学年を通して繰り返し学習する構成になっている。例えば、住生活と衣生活の内容を総合的に扱っている。 ・指定の「袋」の製作は、5年生で手縫いのフェルトのミニバッグ、ミシン縫いのバンダナの中着（ひも1本）を製作後、ウォールポケット、クッションカバー、6年生で、トートバッグ、きんちゃく（ひも2本）を取り上げ、2年間の系統性・発展性に配慮している。 ・5年生の早い段階で「持続可能な社会」「SDG s」の視点がもてるように示している。 ・科学的根拠から理解を深める資料として、グラフ・図・表16、サーモグラフィー・実験写真29を掲載している。グラフやサーモグラフィーから、事実を確かめることを促している。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化については、「衣生活」3か所、「食生活」8か所、「住生活」4か所に「日本の伝統マーク」を示し、「食」についての郷土料理を25品紹介している。 ・題材「食べて元気！ご飯とみそ汁」では、米飯に合う地産地消や保存食について提示し、学びを生活に生かす工夫がある。 ・144の動画のうち、「衣食住の生活」の内容が132<衣72・食44・住16>あり、基礎技能動画や調理実習・製作実習の動画が充実している。左利きの動画もあり、すべての児童が確実に基礎・基本を押さえることができる。 ・「暮らしの中のプログラミング」として、プログラミングされている家電を紹介している。 ・題材「ひと針に心をこめて」では、「深めよう」の活動で家庭生活の様々な場を想定した実践につながるヒントを示し、作品例を紹介している。 ・調理実習後に家庭で実践しやすいよう、数種類の調理の例を取り上げ、動画でも確認しながら調理できるようにしている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童になげかけるふき出しを使い、ポイントを示している。活動場面や巻末資料に「いつも確かめよう」を位置づけ、基礎的・基本的な知識・技能をいつでも確認できるようにしている。 ・ステップごとに「めあて」と「振り返り」を位置づけている。また、巻頭の「成長の記録」で学んだことを振り返り、家庭で挑戦したいことが記録できる。各実習では「できたかな？」として自己評価するチェック項目が設けてある。 ・学びを生活に生かす「生活を変えるチャンス」が3カ所あり、進め方の説明と実践例(3例)課題例(8例)を示している他、「夏休みわくわくチャレンジ」が2ヶ所に設けてある。 ・各界の「プロに聞く」コーナーとして、インタビュー記事を8カ所掲載してある。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4版、重さ333g、総ページ数150p(内容A:26p B:87p C:8p その他:29p) ・独自開発のUD教科書体を使用し、見やすい配色やデザインに配慮している。調理や手縫いの手順の写真を掲載し、分かりやすく示している。 ・巻末に「いつも確かめよう」を位置づけ、作業手順や右利き・左利きの手の使い方の写真を掲載し、児童が自分で確認しながら取り組めるよう配慮している。 ・実習における安全指導について、巻頭に「いつも確かめよう」の特設ページを設けたり、「安全マーク」を31カ所付けて丁寧に解説したりして、確かめながら実習できるよう配慮している。

種 目【家庭】

発行者【9 開隆堂出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「気づく・見つける」→「わかる・できる」→「生かす・深める」の3ステップで学びを展開する構成である。題材のはじめに、生活の見方・考え方の視点とステップごとの「学習のめあて」を示し、題材の最後に「学習を振り返ろう」を位置づけ、全体を見通した中での問題解決的な学習を促している。 ・題材数は、5年生11題材・6年生9題材あり、内容を細かく分け、2学年を通して繰り返し学習する構成になっている。例えば、住生活と衣生活の内容に分けて扱っている。 ・指定の「袋」の製作は、5年生で手縫いのフェルトのカード入れを製作後、ミシン縫いのクッションカバー、6年生で、目的に合った袋作りで手さげ型マイバッグやきんちゃくポーチ（ひも2本）を取り上げ、発達に合わせて題材を配列し、系統性・発展性に配慮している。 ・5年生の学習の終わりに、「持続可能な社会」の視点から、5年生の学習を振り返り、6年生の学習につなげるように示している。 ・科学的根拠から理解を深める資料として、グラフ・図・表24、サーモグラフィー・実験写真22を掲載している。グラフやサーモグラフィーから、考えを深めることを促している。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化については、「衣生活」1か所、「食生活」8か所、「住生活」2か所に「伝統マーク」を示し、「食」についての郷土料理を55品紹介している。 ・題材「食べて元気に」では、実習後に、旬の食材を使ったみそ汁や米料理が提示され、より地域と関わり、学びを深める工夫がある。 ・133の動画のうち、「衣食住の生活」の内容が131<衣55・食67・住9>あり、調理手順では手順や全体の流れなど自分が必要とする動画を選択して確かめることができるよう内容が充実している。クイズやパズルなど、動かして学ぶ動画コンテンツもある。 ・「生活の中のプログラミング」として、仕事の流れとプログラムをリンクさせ、家庭の仕事に役立つための動きを紹介している。 ・題材「ソーイングはじめの一步」では、「生かす 深める」で、「手ぬいの作品にちょう戦」として、学習した技能や作品を応用した作品例を紹介している。 ・調理実習後に家庭で実践しやすいよう、★印の数で難易度を示しながら数種類の調理の例を取り上げ、動画やレシピカードを見ながら調理できるように工夫されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關すること	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のはじめに「なぜ～」という問いかけで考える視点を示している。多様なキャラクターが見方・考え方やポイントを示したり、学習を案内したりして、学びを進めやすくしている。 ・題材のはじめにステップごとの「めあて」に対するチェック欄と、終わりに「学習を振り返ろう」を設けている。また、各実習後には「できたかな」というチェック項目を細かく設け、技能の振り返りと自己評価ができるようにし、基礎・基本の確実な定着を促している。 ・5年の途中で「レッツトライ!生活の課題と実践」の進め方、終了時に実践例(4例)と課題例(4例)及び取組の方法を示している。その中には家庭の他、学級や地域単位の例もある。 ・各界のプロや地域の人々に聞く「キャリアインタビュー」を21ヶ所掲載している。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・A版、重さ358g、総ページ数154p(内容A:24p B:90p C:14p その他:26p) ・UDに配慮したフォントを使用し、見やすい配色に配慮している。実習場面の手順・必要道具は横流れのデザインで統一し、視覚的に分かりやすく工夫している。 ・実物大資料で材料の大きさをつかみやすくしたり、右利き・左利きの手の使い方の写真で利き手に合わせて包丁や針、裁ちばさみなどの技能を確認したりできるように配慮している。 ・実習における安全指導について、「安全マーク」を31ヶ所付けて丁寧に解説したり、「なぜそうするの?」と、自分ごととして安全への注意を意識できるコーナーを設けたりしている。

【 種 目 】 保 健

【 発 行 者 】 6 者

2 東京書籍

4 大日本図書

50 大修館

207 文教社

208 光文書院

224 Gakken

種 目【保健】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3不安やなやみがあるとき』の内容では、対処例7例、実習2例、相談窓口3カ所を7ページにわたって明記している。 ・「深める・伝える」では、学習したことを基にした自分の考えを、仲間と伝え合う活動が設定されている。 ・卓球選手や水泳選手のルーティンを紹介し、緊張をコントロールするための方法について記載されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は10カ所、体育との系統は1カ所、他教科との系統は48カ所明記している。 ・児童の気付きを引き出す、「気づく・見つける」の次に学習課題が設定されており、自ら課題を発見し主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の予防」では、健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで35種類紹介している。 ・動画やシミュレーション、ワークシートなど、デジタルコンテンツが合計93カ所用意されており、教科書にマークで示している。 ・「資料」として、からだの性以外にもいろいろな性があることを紹介し、自分らしさを大切にしていこうように、学習内容と関連付けて人権に関する資料が位置付けられている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学習内容が「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」で構成されている。また、学習の終末では、習得した知識をどのように自己の生活に生かしていくかを考える活動が位置付けられている。 ・動画、シミュレーション、図鑑、思考ツールなど、教科書と一体的に活用できるデジタルコンテンツが用意されており、視覚的にも学習課題の確認や展開の工夫がしやすい。 ・「まとめる・生かす」では、問題形式で学習内容を振り返るだけでなく、これからの自分の生活や将来にどう生かしていくかを考える活動が位置付けられている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ数 114ページ ・3・4年生 151g 5・6年生 237g ・図と絵は458カ所、表・グラフは36カ所、写真は185カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は見開き2ページで構成され、教科書内で使用されているマークやキャラクターの説明を記載している。

種 目【保健】

発行者【4 大日本図書】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3不安やなやみがあるとき』の内容では、対処例5例、実習3例、相談窓口2カ所を5ページにわたって明記している。 ・「考えよう」「話し合おう」では、学習したことを基に、絵や資料から自分の考えをまとめ仲間と交流する活動が位置付けられており、思考力・判断力・表現力が総合的に育成されるように配慮されている。 ・野球選手の夢や目標に対しての生き方を紹介し、夢を実現するためには、目標を決めて努力する大切さについて記載されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は17カ所、体育との系統は1カ所、他教科との系統は11カ所明記している。 ・「活かそう」では、学習したことを基に、これからの自分の生活や将来についてどう生かしていくのかを考える活動が設定されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の予防」では、健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真などで22種類紹介している。 ・動画やシミュレーション、ワークシートなど、デジタルコンテンツが合計39カ所用意されており、教科書にマークで示している。 ・「読み物」として、体の発育・発達の個人差と同じように性にも違いがあることを取り上げ、学習内容と関連付けて性の多様性、ジェンダーについて解説している。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に關する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の中で、「見つける」「考える やってみる」「まとめる」「広げる 深める」で構成されおり、資料から読み取ったり、自分の考えを仲間と交流したりするなどの場が位置付けられている。 ・単元の始めの「学習ゲーム」を通して、児童が学習の課題に気付き、自然と学習に興味・関心をもって取り組むことができるよう工夫されている。 ・各単元に「もっと知りたい!」や「ミニちしき」が位置付けられており、児童がさらに学習意欲を高めていけるよう、学習内容に関連したさまざまな資料が紹介されている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 92ページ ・3・4年生 186グラム、5・6年生 267グラム ・図と絵は434カ所、表・グラフは28カ所、写真は170カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は見開き2ページで構成され、教科書で出てくるマークやキャラクターについて説明を記載している。

種 目【保健】

発行者【50 大修館書店】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3・4 不安や悩みへの対処①②』の内容では、対処例5例、実習例2例、相談窓口3ヶ所を6ページにわたって明記している。 ・「考えよう」では、学習したことを基に、自分の考えを書いたり整理したりする活動が設定されている。 ・各章の導入ページにおいて、スポーツ選手や著名人による健康安全についてのキャラクターとの対話が5例取り上げられている。また、スポーツ選手と心身の健康とのかかわりについてのインタビューが2例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は11ヶ所、体育との系統は7ヶ所、他教科との系統は26ヶ所明記されている。 ・身近な生活の中から課題を発見し、学習の見通しをもつ「ステップ1」、学習課題を解決するための活動「ステップ2」、学習をまとめる「ステップ3」のシンプルな3ステップにすることで学習の流れが分かりやすくなり、児童の学習に取り組む時間が保証され、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。
2 岐阜県教育 振興基本計 画(第3次岐 阜県教育ビ ジョン)の基 本方針に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の予防」では、健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組を17種類のイラストや写真などで紹介している。 ・動画、シュミレーション、実験、ウェブサイトのデジタルコンテンツが合計62点用意されており、教科書にQRコードで示されている。また、教科書の冒頭でタブレットを使った学習方法を解説している。 ・「みんなちがってみんないい」「よりよい関係を築く言葉」「共に助け合って生きよう」など、共生社会の実現に向けた資料が位置づいている。また、個人差を配慮した表現や思春期に配慮したイラストが採用されている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての内容が「ステップ1：課題をつかもう」「ステップ2：考えよう・話し合おう・調べよう・やってみよう」「ステップ3：生かそう・伝えよう」の3ステップで構成されている。ステップ2では、内容に応じて4つの活動が用意されており、ステップ3では、学習を生かしてさらに考えたり、他人と比較したりして学習をまとめることができるようになっている。 ・資料「もっと学びを広げよう！深めよう！」があり、児童が自ら学習を発展させていくことができるようになっている。 ・各章の最後に「学習を振り返ってみよう」のページが設定されており、学習内容の振り返りと今後の生活への動機づけができるようになっている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 106ページ ・3・4年生 156g、5・6年生 217g ・図と絵が634カ所、表やグラフが33カ所、写真が154カ所あり、ユニバーサルデザインに配慮した構成になっている。 ・A4版 目次は見開き2ページで構成され、教科書に出てくるキャラクターについて記載している。

種 目【保健】

発行者【207 文教社】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3・4不安や悩みへの対処①②』の内容では、対処例11例、実習例2例、相談窓口の紹介をQRコードにて例示しており、8ページにわたって明記している。 ・「もっと考えよう課」では、学習したことを基に、さらに深く考えるための発展的な活動が設定されている。 ・「けがとの向き合い方」「体のていこう力を高めておくために」「夢に向かって」のテーマで、児童に向けたアスリートからのメッセージが3例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は5ヶ所、体育との系統は1ヶ所明記されている。 ・各内容の最初に、学習のめあてと共に「本時のMenu」として学習の流れが示されていることで、児童が見通しをもち、主体的学んでいけるよう工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の予防」では、健康を守る学校や地域の活動について、多様な職業や取組を19種類のイラストや写真などで紹介している。 ・動画を中心としたデジタルコンテンツが合計29点用意されており、教科書にQRコードで示されている。 ・資料「もっと考えよう課」の中で、「寄り添うことの大切さ～相手を理解するために知ってほしいこと～」の資料が位置づけられ、他者理解や共生社会の実現に向けた学びの発展ができるようになっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての内容が「ミッション1：学習内容のキーワード」「ミッション2：この時間のまとめ」で構成されており、毎時間最初にミッションの流れが、「本時のMenu」として示されており、それに従って授業を進めることができる。「ミッション1」は内容によって、1～2のキーワードで構成され、「ミッション2」では、「もう一歩先の自分へ」という内容で、学習をもとにこれからの自分について書き込むようになっている。 ・資料「もっと考えよう課」があり、児童が自ら学習を発展させていくことができるようになっている。 ・各章の最後に「わたしの〇〇宣言」のページが設定されており、理解したことを踏まえて自らの生活に結び付けていくことができるようになっている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 117ページ ・3・4年生 134g、5・6年生 195g ・図と絵が443カ所、表やグラフが32カ所、写真が198カ所あり、ユニバーサルデザインに配慮した構成になっている。 ・A4版 目次は1ページで構成されている。

種 目【保健】

発行者【208 光文書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3不安やなやみなどへの対処』の内容では、対処例7例、実習2例、相談窓口3カ所を4ページにわたって明記している。 ・「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」では、それまで学習したことを基に考え、伝え合う活動を重視し、全単元において児童が自分の考えを記述する活動が位置付けられている。 ・アスリート、宇宙飛行士、作家、音楽クリエイターなど様々な分野の人物から、生き方や考え方について8例紹介されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は14カ所、体育との系統は1カ所、他教科との系統は9カ所紹介されている。 ・各単元の始まりで、これから始まる学習を自分のこととして捉え、主体的に学習に入っていけるように、健康課題と自分の生活とのかかわりを示した「見つけよう」が位置付けられている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の子供」では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真を使って14種類紹介している。 ・動画、シミュレーション、実験、ウェブサイトなど、デジタルコンテンツが合計で39カ所用意されており、二次元コードからアクセスできるようになっている。 ・読み物として、パラリンピックも含めたアスリート選手の生き方や考え方の話が掲載されている。「性についてのなやみ」が取り上げられ、性の多様性についての知識と理解を深めるものとなっている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の授業が、「見つけよう」「調べよう、考えよう、話し合おう、やってみよう」「学んだことを生かそう」の3つの要素で構成されている。まとめは、自分のこととして捉え、自らの考えを書くことができるような工夫がされている。 ・各章導入時に4コマ漫画が位置付けられ、学習に興味をもてるような工夫や学習の意味についての紹介がある。 ・単元終了時に、学習のまとめのページが1ページあり、自分の学習の振り返りと今後の生活に生かすまとめができるようになっている。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 92ページ ・3・4年生 134グラム、5・6年生 195グラム ・図と絵は521カ所、表・グラフは29カ所、写真は118カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は見開き5ページで構成され、目次で1ページ。学習意義や学習方法について4ページにわたって記載している。

種 目【保健】

発行者【224 Gakken】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得のための内容として『「心の健康」3不安やなやみへの対処』の内容では、対処例7例、実習3例、相談窓口9カ所を8ページにわたって明記している。 ・「自分で考える」→「友達やみんなと考える」→「身に付けたことを生かす」を繰り返すことで、思考力・判断力・表現力を着実に身に付ける流れとなっている。 ・保健師の仕事内容を紹介し、地域の人々の健康を守るための働きや思いについての紹介が1例示されている。 ・保健領域の系統性について、領域内での系統は3カ所、体育との系統は7カ所、他教科との系統は28カ所紹介されている。 ・単位時間の始まりで、今までの経験から振り返ったり予想したりして、本時の課題をつかみやすくし、主体的に学習に入っていけるよう、導入が工夫されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「病気の予防」では、健康を守る地域の活動について、多様な職業や取組をイラストや写真を使って32種類紹介している。 ・動画、シミュレーション、ワークシート、ウェブサイトなど、デジタルコンテンツが合計41カ所用意されており、二次元コードからアクセスできるようになっている。 ・誰もが安心して暮らすことができる「共生社会」についてや、パラスポーツや男女の性のことを取り上げ、多様性に対応している。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の授業が、「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身に付けたことを生かす」の3つの要素で構成されている。まとめでは、今後自分はどのように取り組んでいくかを考え、記述していくようになっている。 ・各単位時間の最初に普段から見慣れた景色の写真やイラストが大きく位置付けられ、それを見て予想したり振り返ったりして、授業に取り組めるようになっている。 ・各単位時間の「ほけんのはこ」で、学習に関わる情報が示され、学習の広がりや深まりが進むものとなっている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 120ページ ・3・4年生 151グラム、5・6年生 252グラム ・図と絵は456カ所、表・グラフは19カ所、写真は160カ所配置するなど、ユニバーサルデザインに配慮している。 ・A4判 目次は見開き2ページで構成され、教科書に出てくるキャラクターについて説明を記載している。3・4年、5・6年ともにSDGsのことに触れている。

【 種 目 】 英 語

【 発 行 者 】 6 者

2 東京書籍

9 開隆堂出版

15 三省堂

17 教育出版

38 光村図書出版

61 新興出版社啓林館

種 目【英語】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動の設定数は、「聞くこと」74回、「発表」19回、「やりとり」11回、「読むこと」33回、「書くこと」24回となっている(6年生)。 ・ 書くことは、5年生は単元で1文程度、6年生は単元で4、5文程度の書く活動がある。 ・ 読むことは、5年生ではUnit8のみ、6年生では、単元ごとに4、5文程度の英文を音声で聞きながら、指で追って確認する活動が位置付けられている。 ・ 構成や配列上の特徴は、約3単元に1回 Check Your Steps のコーナーを設置し、学習した内容を確認することができる。 ・ 5年生の冒頭「Let's start!」で中学年の学習内容が復習でき、6年生の巻末「Going to Junior High School」で、中学校での学習内容を想像できる構成となっている。 ・ 主体的な学びを実現するために、単元ごとに単元目標と3観点別の目標が示されている。 ・ 各単元の Your Turn、Enjoy Communication に、ペア・グループ・クラスで対話する活動がある。Let's Read でも、読んで分かったことや分からなかったことについてペアで確認する活動がある。 ・ Your Turn、Enjoy Communication、Over the Horizon に、振り返りが位置付けられている。また、別冊の巻末には、「CAN-DO の樹」があり、2年間の見通しをもつことや単元ごとの振り返りができる。
2 岐阜県教 育振興基 本計画(第 3次岐阜 県教育ビ ジョン)の 基本方針 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生「Check Your Steps3 おすすめしたい! 日本の素敵」では、学習したことを活かして、日本の魅力について考え、英語で発信することができる。 ・ QR コード数は、5年生77個、6年生75個、別冊59個がある。 ・ 単元のはじめに単元の終末に目指す姿の動画や単元の内容を網羅したメニューコンテンツ等がある。 ・ 動画は字幕ボタンや繰り返しボタンがあり、学習者に合わせた学びができる。また Song や Chants は現代の子供にあった動画やリズムになっている。 ・ 主な登場人物はアメリカ人、オーストラリア人、ブラジル人、日本人、ケニア人と多くの人種、肌の色、文化に学習者が触れられることができる。また、人種だけでなく、車いすの子もたびたび登場し、多種多様な現代社会について考えることができる。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての単元が、大きく4段階の構成になっている。導入において、単元終末の課題を理解させると共に意欲を引き出し、課題達成に向け、児童の思考の流れに合わせて展開する単元構成になっており、児童、教師共に、単位時間ごとにねらいをもって授業に臨むことができる。 ・ 複数の単元終了後に Check your steps が設定されており、パフォーマンス課題として、評価に利用できる。その際、既習内容を想起させる記述があったり、それを記入するチャートが準備されていたりすることで、児童が見方・考え方を働かせることができる。 ・ Your Plan など、児童の意欲を引き出し、児童自身が思考できる活動が設定されている。また、思考した内容を書いたり話したりすることができるよう、QR コードを利用して視聴覚教材を確認めたり、関連した Picture Dictionary のページが示されており、進んで学習に活用できる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判型はA4判で、重さ267g(5年)265g(6年)、厚さ4.5mm、総ページ数96pいずれも最小である。別冊(My Picture Dictionary)は、A4判、129g、2.0mm、48p。 ・ 英語、日本語ともにユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・ 巻末資料として、活動用カードが11枚(5年)、9枚(6年)用意されている。また、別冊には、誌面の700語に加え、デジタルで300語がまとまっており、すべて(単語・対話)を1つずつ音声で聞くことができる。デジタル上に言いたい単語がない場合には、オリジナル絵辞書を作ることができる。

種 目【英語】
 発行者【9 開隆堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の設定数は、「聞くこと」78回、「発表」49回、「やりとり」7回、「読むこと」24回、「書くこと」24回となっている(6年生)。 ・書くことは、5年生で各Unitに3文程度のなぞり書き、6年生では各Unitを通して3～5文書く活動が位置付けられている。 ・読むことは、5年生では各単元にLet's Listen and Read(音声ありで2～3文)、6年生ではその他にLet's Read(音声なしで4～8文程度)が位置付けられている。 ・構成や配列上の特徴は、各学年に3回、身に付けた知識や技能を確かめるLet's Check(聞く、読む、書く)や、「先生と話をしよう」が設定されている。 ・Let's Playが各単元に4つほどあり、表現に慣れ親しむ活動が多く、教科書のつくりとしてスモールステップで進んでいくことができる。 ・5年生の冒頭「Let's Review!」で中学年の学習内容が復習でき、6年生の冒頭「Let's Review!」で5年生の学習内容が復習できる。 ・主体的な学びを実現するために、単元ごとにゴールとゴールまでの道筋が示されており、学習の見通しをもつことができる。 ・巻末に、「CAN-DOチェック」があり、技能ごとに「わかる」「使える」の振り返りができる。 ・各単元に必ずペアやグループで対話する活動が設定されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「I love my town.町のすてきなところを紹介しよう。」では、学習したことを活かして、日本の魅力について考え、英語で発信することができる。 ・5年生の教科書のStory Timeでは、日本各地についての様々な事を紹介する画像がある。 ・QRコード数は、5年生57個、6年生50個、5年生別冊57個、6年生別冊52個がある。 ・どのページにも学習する単元のメニューボタンにつながるQRコンテンツが右上にあり、ICTの苦手な指導者への配慮がされている。また、動画等がある場合は教科書内の文末にQRコンテンツがあることをわかりやすくした印がある。 ・主な登場人物はアメリカ人、カナダ人、シンガポール人、日本人、スウェーデン人と多くの人種、肌の色、文化に学習者が触れることができる。また、人種だけでなく、車いすの人や障がい者スポーツについて紹介するページもありし、多種多様な現代社会について考えることができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体の中で、見通しをもつ、慣れ親しむ、考えや気持ちを伝える、目的や場面に合わせて伝え合う、という各単位時間の役割が明確になっている。特に単元の中盤においては、各種ゲームが示されており、慣れ親しみという目的を達成しやすい。 ・1単位時間で実施する内容は、1ページもしくは2ページで区切られており、児童も教師も、導入から終末までの見通しをもった授業展開がしやすい。また、各ページにはSmall TalkやSounds and lettersも示されており、即興性を養うことや文字指導に活用できる。 ・巻末に「CAN-DOチェック」のページが設定されており、付けたい力が明確になっていて、単元ごとの振り返りに活用でき、学びを確かめることにも活用できる。 ・Word Book充実しており、言葉を探すなど、家庭学習で活用することができる。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で、重さ329g(5・6年)、厚さ6.0mm、総ページ数128p。別冊(Word Book)は5・6年別になっており、それぞれA4判、99g、2.0mm、33p。 ・日本語はユニバーサルデザイン書体、英語は欧文書体を使用している。 ・巻末資料は、アルファベットカード(5年2枚・6年1枚)と登場人物カード1枚(6年)。「CAN-DOチェック」で、単元末の自己評価ができる。

種 目【英語】
 発行者【15 三省堂】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の設定数は、「聞くこと」59回、「発表」37回、「やりとり」27回、「読むこと」28回、「書くこと」21回となっている(6年生)。 ・読むことは、各単元に Let's Listen and Read があり、4、5文程度の音声を聞きながら文字を追って読む活動が位置付いている。 ・書くことは、単元ごとに Let's Read and Write があり、例文をもとに2、3文書く活動がある。 ・構成・配列上の特徴は、各学年を3つの大単元で区切り、各大単元は、HOP(見通し)、STEP(習得が2～3Lesson) JUMP(活用)で構成され、3つのプロジェクト型の活動を設定し、学習した内容を活用する流れとなっている。 ・5年生の冒頭「英語で言ってみよう」で中学年の学習内容が復習でき、6年生の冒頭「英語で言ってみよう」で5年生の学習内容が復習できる。6年生最後の Lesson は、「中学生になったらどんなことがしたいか」という話題を扱っている。 ・主体的な学びを実現するために、単元ごとにゴールと単元全体の見通し図があり、学習内容を把握することができる。 ・各単元にペアやグループでの対話活動が設定されており、Step-up、JUMP では、振り返りがある。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「Lesson6 It is in Fukui.」では、学習したことを活かして、自分のお勧めしたい場所やその場所でできることについて話す伝え合うことで日本の魅力について考えることができる。また、6年生「Lesson2 We have Children's Day in May.」では、地域の魅力について考え、英語で伝え合うことが位置付いている。 ・QRコード数は、5年生55個、6年生57個、別冊66個がある。また、QRコンテンツは全てメニューボタンにつながるように設定されており、教科書の右上部にある。 ・画像や英文をタップすると音声流れる。特に、英文は音声に沿って英文がハイライトされる。また、速度調節が可能のため、英語の学習を苦手とする子に対して配慮されている。 ・子供が主体的に学べるよう、単語問題がある。 ・「Hello, World」では世界各地の文化やスポーツについて学ぶことができる。 ・主な登場人物はアメリカ人、オーストラリア人、カナダ人、日本人、インド人、中国人と多くの人種、肌の色、文化に学習者が触れることができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・各 Lesson が HOP→STEP→JUMP で構成されており、単元全体の流れが明確になっている。単位時間ごとの活動で行った内容が、ほぼそのまま終末の活動につながるため、児童、教師ともに、単元の終末に向けての目標をもちやすく、同時に、終末においては、前時までの内容を想起しやすい。 ・学習の出口である JUMP は、複数の Lesson をまとめた活動として設定されている。児童にとっては、複数の単元の学習内容を活用すればよいことを理解しやすく、教師にとっては、複数の単元のまとめのパフォーマンス課題として位置付けることで、評価しやすい。 ・見開き4ページ分設定されている「ABC FUN BOX」を活用し、1単位時間を使い、十分に時間を確保しながら文字指導をすることができる。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で、重さ301g(5・6年)、厚さ5.0mm、総ページ数112p。別冊(My Dictionary)は、AB判、113g、2.0mm、48p。 ・ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用しており、すっきりとして見やすい。 ・巻末資料は、活動用カードが11枚(5年)、6枚(6年)用意されている。別冊は、二次元コードで音声を聞く(1つずつ・連続)ことができる。さらに、チャンツや単語ゲームもある。

種 目【英語】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の設定数は、「聞くこと」26回、「発表」14回、「やりとり」7回、「読むこと」16回、「書くこと」16回となっている(6年生)。 ・読むことは、各単元の Final Activity に関わる内容について音声を聞きながら4～8文程度読む活動が位置づけられている(6年生)。 ・書くことは、Let's Read & Write という統合された形で位置づけられている(5年生は Unit9 のみ、6年生は Unit4 以降、各単元2～3文程度)。 ・各単元の始めには Think が位置づけられており、言語や文化、コミュニケーション等に気付きや思考を促し、学習の見通しを持たせている。 ・導入単元 Let's Start Together において、前学年の学習内容を取り扱っている。また、6年生の後半からは、中学校へ無理なくつながるよう、文構造への気付きを促す活動がある。 ・主体的な学びを実現するために、Lesson 内にペアやグループで協力し合いながら取り組む Activity、Final Activity があり、コミュニケーション活動を行うことができる。 ・巻頭に「学びのロードマップ」があり、1年間の学習を見通すことができる。また、各 Lesson の最後には3観点の評価と対応した振り返りがある。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「Lesson6 Where do you want to go?」では、学習したことを活かして、海外の友達に勧めたい日本の旅行先を考える活動や6年生「Lesson2 My town is wonderful.」や「Lesson3 Welcome to Japan.」も同様に日本の文化や伝統を海外の人に発信できる力を養うことができる。 ・QRコード数は、5年生77個、6年生60個がある。 ・QRコンテンツは場面ごとに細かく分けられており、使いたい場面で使いたいQRコンテンツを活用できるよう配慮されている。 ・アニメーションと実写が場面によって使い分けられている。 ・「Let's look at the world.」では世界各地の文化やスポーツについて学ぶことができる。 ・主な登場人物の出身地は記載されていない。改めて出身地を記載しないことも多様性への配慮がされている。また、主な登場人物の中で車いすを使っていることや手話等を教科書に位置付けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・各単位時間で重点的に扱う活動が、Let's Watch、Let's Listen、Activity、Final Activity と、段階的に変化していき、各段階において身に付けるべき力が明確になっている。そのため、終末に向けて、確実に学びを積み上げることができる。 ・終末の活動は、実施の手順が明確に示されており、使用すべき言語材料や、工夫できる点などが分かりやすく示されている。そのため、児童、教師ともに目標を設定しやすく、教師にとっては評価に活用しやすい。 ・単元の最後に Sounds and Letters、Review のページが設定されており、文字指導や単元の振り返りに利用できる。 ・教科書内に直接記入できるスペースが多数設置されており、事前準備が軽減される。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はAB判で、重さ320g(5年)324g(6年)、厚さ6.0mm、総ページ数116p(5年)108(6年)。別冊なし。 ・英語、日本語ともにユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・ページの最後に、「My Word Bank」が6ページずつある。音声を順に聞くことができる。巻末資料として、活動用シール・絵カード・ワークシートなど合わせて、17枚(5年)14枚(6年)あり、豊富である。

種 目【英語】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の設定数は、「聞くこと」65回、「発表」13回、「やりとり」15回、「読むこと」22回、「書くこと」20回となっている(6年生)。 ・読むことは、Jump のページを中心に Let's Read が位置付けられており、5年生は3文程度、6年生は4、5文程度を音声なしで読み、簡単な質問に答えるようになっている。 ・書くことは、Let's write and read が位置づけられており、5年生は Unit4 以降、6年生は各単元で2文程度書く活動が設定されている。 ・両学年とも、内容が大きく3つのパートに分けられており、それぞれのテーマに向かって表現できることを増やしていく流れになっている。また、各パートの終末には、まとめの言語活動として「世界の友達/You can do it!」が位置付けられている。 ・導入単元で、前学年の学習内容を振り返ることができる。また、6年生の巻末には、発音や綴り、英語のしくみなど、中学校での学習内容が想像できるようになっている。 ・Let's Try の活動後に Plus One が位置付いており、会話を続けるために思考力や知識・技能を働かせて表現する力を養うことができる。 ・巻頭で、各領域における到達目標が示されており、1年間でどんなことができるようになるかを見通すことができる。また、Unit の最後には、振り返りがあり、工夫したことや次に活かしたいことを記述する欄がある。
2 岐阜県教育 振興基本 計画(第3次 岐阜県教育 ビジョン)の 基本方針に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生「Unit8 This is my town.」では自分の町の魅力をパンフレットに書きまとめ、その後、英語で交流することができる。また、6年生「Unit6 Welcome to Japan.」では、日本の魅力を英語で紹介活動があり、ふるさとや地域についても学ぶことができる。 ・QR コード数は、5年生90個、6年生80個がある。また、QR コンテンツが教科書の右上にあり、ページごとに内容が異なる。学習のページに合わせた動画構成になっている。 ・動画や歌、チャンツ等は現代の子に親しみやすい映像やリズムになるよう十分配慮されている。 ・主な登場人物はアメリカ人、オーストラリア人、カナダ人、日本人、インド人と多くの人種、肌の色、文化に学習者が触れることができる。 ・複数単元学習後の「世界の友達」で世界各地の文化等について教科書やQR コンテンツを使い、動画等から学ぶことができる。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に关すること	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のページに Hop!、Step1、Step2、Jump!として、具体的な目標や活動内容が記入されており、見開きのページごと、単位時間ごとに課題や目的をもった活動を意識することができる。 ・パフォーマンス課題のページとして「You can do it!」があり、話す活動だけでなく、書く活動も設けられ、様々な観点からの評価ができる。課題の内容も、既習内容を活かした、児童の興味を惹くものが設定されており、意欲的な活動を促すことができる。 ・巻頭に「できるようになること」のページが設定されており、付けたい力が明確になっている。単元ごとの振り返りに活用でき、学びを確かめることにも活用できる。 ・QR コードを使い、映像や音声を何度も繰り返し視聴することができ、学習に利用できる。
4 表現や体 裁等に关 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はAB判で、重さ356g(5年)329g(6年)、厚さ7.0mm、総ページ数110p。別冊なし。 ・日本語はUD書体、英語は独自のフォントを使用している。 ・巻末に取り外し可能な「Picture Dictionary」(5・6年各25p)が挟まれている。単語の文字が大きめで見やすい。音声は、順に聞くことができる。巻末資料としては、絵カード・ワークシートが、6枚(5年)、1枚(6年)が用意されている。

種 目【英語】

発行者【61 新興出版社啓林館】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の設定数は、「聞くこと」73回、「発表」16回、「やりとり」16回、「読むこと」16回、「書くこと」24回となっている(6年生)。 ・読むことは、各単元の Step3 に「Watch and Do」が位置付けられており、5年生は4、5文、6年生は5～7文程度の英文を映像に合わせて読んでみる活動が設定されている。 ・書くことは、5年生の Unit4 以降、各単元の例文をもとに書く活動や6年生では、「Watch and Do」を参考に4、5文程度書いてまとめる活動が設定されている。 ・REVIEW の CHALLENGE ではポスターやグラフから情報検索し、必要な情報を得て質問に答えるなど、実際に海外で体験しそうな、技能総合的な学習をするための活動が工夫されている。 ・Pre Unit で、前学年の学習を復習することができる。5年生後半から徐々に読み書きを増やし、6年生の最後の Unit では、「中学校でやってみたいこと」を話題として扱っている。 ・Activity にペアやクラスで行う言語活動が位置付けられており、スモールステップで知識・技能を身に付けることができる。 ・単元の始めに、単元のゴールと各 step のめあてが示されている。また、単元の終わりにできるようになったことをチェックする振り返りがある。巻末には、「Can-Do List」があり、各学年でできるようになったことを領域別にチェックすることができる。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生「Unit2 Welcome to Japan.」では、日本の魅力を英語で紹介活動があり、ふるさとや地域についても学ぶことができる。また、6年生「Unit3 We need a big park in our town.」では、自分の町をよりよくするために自分たちの町について考えるよう、課題に必然性を持たせた指導ができる。 ・QRコード数は、5年生：135個、6年生：134個がある。 ・デジタル教科書では、語句や起動ボタンをタップすると、音声や映像を視聴することができる。また、英語の字幕が表示されたり、読み上げている箇所をハイライトさせたりすることができる。 ・単元学習後の「Did you know?」で世界各地の文化等について学ぶことができる。また、複数単元学習後には「Did you know?プラス」もあり、世界の文化についてより深く学ぶことができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元が、とびら(会う)STEP1、2(慣れる)STEP3(楽しむ)というパターン化された構成になっており、教科書を活用すれば、諸活動を網羅しながら、インプットからアウトプットまでを終えることができる。特にSTEP1、2(慣れる)においては、Chants など、慣れ親しむための活動が充実している。 ・単元終末の活動が、見開き1ページの中で完結している。児童にとっては、終末の活動の導入時に考えたことに、中盤で思考したこと(工夫)を加えやすい構成になっており、教師にとっては、評価に活用しやすい。 ・QRコードを活用すれば、Activity 達成のためのヒントとなる映像や、「Word List」を確認することができる。課題達成に役立てることができる。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・判型はA4判で、重さ383g(5年)381g(6年)、厚さ6.5mm、総ページ数132pで、重さと総ページ数が最大である。別冊なし。 ・英語、日本語ともにユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・巻末に「Word List」(5・6年各21p)がある。1つずつ音声を聞くことができる。巻末資料としては、絵カード・会話を楽しむフレーズ集が11枚(5年)、10枚(6年)ある。また、「CAN-DO List」で、単元末の自己評価ができる。

【種目】 道徳

【発行者】 6 者

2 東京書籍

17 教育出版

38 光村図書出版

116 日本文教出版

208 光文書院

224 Gakken

種 目【道徳】

発行者【2 東京書籍】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル6(各学年1)、生命尊重18(各学年3)、いじめ問題24(各学年2～6)がある。『「いじめ」について考えよう』『いのちについて考えよう』というユニットを作成して、いじめの起きやすい6月、自殺の多い9月に配置している。 ・読み物教材…1年27個、2～6年35個、合計202個。問題解決・体験が18個。各学年3つずつ「演じて考えよう」「問題を見つけて考えよう」を設けて、体験的な学習を提案している。教材末には「考えよう」を設定して、問題解決学習を促している。 ・巻末において他教科等との関連が124個掲載されている。また、「つながる∞広がる」が設けられている教材があり、関連する本や動画の紹介がされている。 ・1年生[A自分自身]10教材、[B人との関わり]9教材、[C集団や社会]9教材、[D生命や自然、崇高なもの]6教材、全34教材。6年生[A自分自身]8教材、[B人との関わり]7教材、[C集団や社会]12教材、[D生命や自然、崇高なもの]8教材、全35教材。重点内容項目として、「D生命の尊さ」全学年に3教材、「B親切思いやり」を1～3年生に3教材を配置している。 ・展開に1つ、終末に1つの発問を位置付けている。小タイトルで主題名が位置付いている。「考えよう」では、◎が価値に迫ることができる中心発問、○が自己を見つめる発問として位置付いている。3年生以上は「つながる・ひろがる」他の学習や生活に広げる発問が位置付いている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、1・2年生1教材、3～6年生2教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材はなく、参考資料の一つとして5年生に「関市の刀匠」の写真が掲載されている。 ・自然に関する教材の中で、1年生「朝顔」、2年生「ミニトマト・夏の生き物」、4年生「水源の森」を扱ったものがあり、他教科と関連した指導が可能である。 ・全ての教材に二次元コードがある。 ・二次元コードの内容は、朗読、画像、動画の素材があり、動画に解説がある。自然、偉人、国際、伝統などの扱いが多い。 ・各学年末に成長を振り返る「学習の記録」が巻末に位置付けている。 ・各単位時間の振り返りは、「デジタルノート」をダウンロードして、毎時間活用することができる。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、道徳学習の進め方、話し合いの約束、ショートストーリーでミニ授業ができる「ちょっとみんなで話し合ってみよう」が設けられ、学習の見通しがもてるようになっている。どの教材も「考えよう」で、◎(中心発問)→○(自己を振り返る発問)という流れが示されていて、授業を進められる。 ・巻末に付属されている「心情円」や、「心のメーター」などを活用し、自分の心情を見つめたり、仲間の考えと比べたりするツールが充実している。 ・付録のページ「つながる 広がる」が設けられ、家庭や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深めるように工夫されている。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：210mm257mm(AB版)、総ページ数と重量の平均：174ページ、330g 別冊ノートなし。 ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォントである。文章の記述は、1・2年生は、分かち書きである。 ・巻頭部分に4つの視点と内容項目を分かりやすく明示したページがある。巻末に、「学習の記録」と「考えるためのツール 心情円(4～6年生)」の紹介ページがある。

種 目【道徳】

発行者【17 教育出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル6(各学年1)、生命尊重12(各学年1～3)、いじめ問題25(各学年2～6)となっている。「いじめをなくす」という表記で、2つの教材とコラムでユニットを編成している。 ・読み物教材…1年30個、2～6年35個、合計205個。問題解決・体験が43個。「たいけん」「問題を解決しよう」では、問題解決・体験学習を設定しており、低学年の方が多く、高学年の方が少なく配置されている。教材末に「考えよう・深めよう」を設けている。 ・巻末において他の教科・領域との関連が155掲載されている。また、「つなげよう」では、自分ならどうするのかを問う問題が設定されている教材が各学年数個ある。 ・1年生[A自分自身]10教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]12教材、[D生命や自然、崇高なもの]4教材、全34教材。6年生[A自分自身]8教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]12教材、[D生命や自然、崇高なもの]7教材、全35教材。重点内容項目として、「A節度、節制」1～3年生に3教材を配置している。 ・導入に1つ、展開に2つ、終末に1つの発問を位置付けている。主題名が小タイトルで位置付いていて、導入では主題に関わる発問が位置付いている。「考えよう」では、登場人物の心情や行為を問う発問と価値を追求する発問が位置付いており、中心発問には☆が付いている。また「深めよう」では、自己を見つめるための発問が位置付いている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、1・2・4・5・6年生2教材、3年生3教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材は、6年生「六千人の命のビザ―杉原千畝―」がある。 ・自然に関する教材の中で、2年生「春みつけ」を扱ったものがあり、他教科と関連した指導が可能である。 ・全ての教材に二次元コード「まなびリンク」が設定されている。 ・内容は、話のあらすじや教材で扱っていることについての資料、参考図書。詳しいことは自分で調べる必要がある。 ・一年間を学期に区切り、それぞれのまとまりの終わりに「学びの記録」を設け、学期ごとに振り返りができる。心に残ったことや成長した自分を振り返ることができる欄を巻末に設けている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、学び方のガイダンスが設けられ、学習の見通しがもてるようになっている。毎時間3観点の視点が示されており、振り返りができる箇所がある。「考えよう(展開の発問2つ。☆マークは、中心発問。)」→「深めよう(自己を振り返る発問1つ)」で、その流れに沿えば授業が進められる。問題解決的な教材では、「問題を解決しよう」で話し合いの流れが提示されており、授業を進めやすい。 ・「つなげよう」「やってみよう」が適宜設けてあり、対話的学習活動が実践しやすい。 ・「つなげよう」では、学んだことをこれからの生活に生かしたり、調べ学習を促すような投げかけをしたりしている箇所があり、生活における実践にもつなげやすい。
4 表現や体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：210mm257mm(AB版)、総ページ数と重量の平均：168ページ、358g 別冊ノートなし。 ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォント(教科書体)である。文章の記述は、1年生、2年生「10ごみすて」まで、分かち書きである。 ・巻末には、「世界人権宣言」の全文が4ページにわたって掲載されている。「学習をふり返ろう」が3ページと「1年間の学習をふり返ろう」が1ページある。

種 目【道徳】

発行者【38 光村図書出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル6(各学年1)、生命尊重 18(各学年3)、いじめ問題 29(各学年4～6)となっている。学年による数の差がなく、バランスが良い。いじめ問題と生命尊重では、場面設定や内容に重複がなく、多様な題材を扱っている。 ・読み物教材…1年26個、2・3年33個、4・6年35個、5年34個、合計196。問題解決・体験が28個。教材末に「考えよう・話し合おう」を設け、どの教材においても問題解決学習を設定している。「演じて考えよう」では役割演技を位置づけている。 ・巻末において、他教科・領域との関わりが130個掲載されている。また、教材の最後に位置づけられている「つなげよう」で、他の教材や、児童の経験、図書の本などに発展させている。 ・1年生[A自分自身]10教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]11教材、[D生命や自然、崇高なもの]5教材、全34教材。6年生[A自分自身]8教材、[B人との関わり]9教材、[C集団や社会]10教材、[D生命や自然、崇高なもの]7教材、全34教材。重点内容項目として、「D生命の尊さ」全学年に3教材を配置している。 ・導入に1つ、展開に2つ、終末に1つの発問を位置づけている。内容項目に関する内容とマークが位置づいていて、導入では主題に関わる発問が位置づいている。「考えよう・話し合おう」では、視点の異なる発問、◎が価値に迫るための発問、自己を見つめるための発問や問題を解決するためにどうしたらよいかを考える発問などが位置づいている。
2 岐阜県教 育振興基 本計画(第 3次岐阜 県教育ビ ジョン)の 基本方針 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、各学年1教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材として、6年生「五十五年目の恩返し」(杉原千畝)がある。6年生に付録として、「日本の『伝統工芸』」の中に、一位一刀彫の写真が掲載されている。 ・自然に関する教材の中で、1年生「朝顔」、2年生「ダンゴムシ」を扱ったものや、3～6年生「コラム：自然とともに(環境問題など)」があり、他教科と関連した指導が可能である。 ・学びのさらなる深化・拡充のため、必要な教材に絞って意図的な二次元コードの位置づけがされている(1～6年生 計126)。 ・二次元コードの内容は、朗読、web資料画像、インタビュー動画などがある。 ・巻末に毎回の授業の振り返りを「学びの記録」に記述できるようになっている。 ・1～4年生はシールを貼って評価する形式になっている。5、6年は一言感想を記入する形式になっている。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に道徳の時間の学び方や大切にしたいことがまとめられている。どの学年にも、最初の教材を使って「道徳の学び方」のガイダンスが位置づけられており、教科書を使ってどのように授業を進めていけばよいかの指導経験が浅い教員にとって分かりやすい。 ・教材の始めに導入のための発問例が例示してあったり、終末では、既習資料や他教科、読書活動、実践等とつながる自然な投げかけがあったりして、広がりのある指導がしやすいように十分配慮されている。 ・3年生以上の長期休み前に、「環境」「国際理解」「ユニバーサルデザイン」などを扱ったコラムを位置づけ、その中に「夏休み(冬休み)に調べてみよう」というコーナーが設けられている。児童が自主的な学びに生かしたり、家庭での話し合いにつなげたりすることができる。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：192mm257mm (B5判変形) ・総ページ数と重量の平均：179ページ、327g 別冊ノートなし ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォント(教科書体)である。文章の記述は、1年生は1文節の分ち書き、2年生は2～3文節の分ち書きである。 ・巻頭の部分に、4つの視点と内容項目を分かりやすく明示したページがある。巻末に、「学びの記録 シール(1～4年生)、言感想(5、6年生)」で振り返りが位置づいている。

種 目【道徳】

発行者【116 日本文教出版】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル9(各学年1～3)、生命尊重16(各学年2～3)、いじめ問題44(各学年6～9)がある。いじめを間接的、直接的に扱うことのできる教材を組み合わせ、いじめ防止ユニット「人との関わり」とし、年間3回位置付けている。 ・読み物教材は1年28個、2～6年35個、合計203個。問題解決・体験が31個。「ぐっと深める」では、言語活動や役割演技を通じた問題解決・体験学習を位置付けている。教材末に「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」を位置付けている。 ・巻末において、他教科等との関連が141個掲載されている。「心のベンチ」のコーナーで、学習したことについて他の教科などにつなげて考えを広げるページを位置付けている。 ・1年生[A自分自身]11教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]13教材、[D生命や自然、崇高なもの]5教材、全37教材。6年生[A自分自身]10教材、[B人との関わり]9教材、[C集団や社会]13教材、[D生命や自然、崇高なもの]6教材、全38教材。重点内容項目として、「A 善悪の判断」「B 親切、思いやり」「C 規則の尊重」「D 生命の尊さ」1年生から4年生に3教材を配置している。 ・導入に1つ、展開に1つ、終末に1つの発問を位置付けている。主題名が小タイトルで位置付いて、導入では主題に関わる発問が位置付いている。「考えてみよう」では、価値に迫ることができる発問、「見つめよう・生かそう」で、自己を見つめる発問が位置付いている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、全学年2教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材として、3年生「あこがれの人(郡上踊り)、災害の資料として御岳山の写真、6年生「上村さん(岐阜県出身者)のちょうせん—ひさい犬と共に—」、「杉原千畝—大勢の人の命を守った外交官—」が掲載されている。 ・自然に関する教材は掲載されている。 ・全ての教材に二次元コードが設定されている。二次元コードの内容は、朗読、画像、動画、関連のHPにリンクする。 ・別冊の「道徳ノート」に、自分の感じたことを書き込む記述欄が位置付いており、評価に生かすことができる。 ・「おうちの人から」欄も学期ごとに用意されていて、学びの様子を家庭に知らせることができ、家庭との連携が配慮されている。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、各学年の発達段階に応じた「道徳の学び方」が記載されている。教材の始めに導入のための発問例が1つ、「考えてみよう」でねらいに迫るためのヒントとなる発問例が1つ、「見つめよう・生かそう」で自己に生かすための発問例が1つ記されている。 ・題字の横にあらすじと主な登場人物が記されている。また、「ぐっと深める」ページでは、話し合いや演じている写真を載せたり、挿絵ごとに発問例が書いてあったりして、授業のイメージをもたせる工夫がしてある。 ・いじめに関連する教材が他者と比較してかなり多く位置づいている。いじめを大きな教育課題とする本県にマッチする部分はあるが、教材によっては関連をとらえにくいものもある。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：210mm257mm(AB判) ・総ページ数と重量の平均：180ページ、352g ・「道徳ノート」が別冊である(教科書に挟めるサイズ) ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォントである。文章の記述は、1・2年生は、分かち書きである。 ・すべての学年の巻末に付録として3つの教材が位置づいており、教材選択の幅を広げている。また、「見つけた!ここにも道徳」として学習したことを生活とつなぐページが位置づいている。

種 目【道徳】

発行者【208 光文書院】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル6(各学年1)、生命尊重18(各学年3)、いじめ問題31(各学年2～6)がある。重点主題「いじめを生まない心」「命をかがやかせる」を設定し、ユニットを組んで位置付けている。 ・読み物教材は1年31個、2～6年35個、合計206個。12個。「みんなでやってみよう!」「へこんでも立ち直る」において、問題解決・体験学習を位置付けている。教材末に「かんがえよう」「まとめよう」を位置付けている。 ・巻末において他教科とのかかわりが52個掲載されている。教材の最後に位置付けられている「ひろげよう」では、自分の生活に結び付いた発問がなされている。 ・1年生[A自分自身]11教材、[B人との関わり]9教材、[C集団や社会]13教材、[D生命や自然、崇高なもの]7教材、全40教材。6年生[A自分自身]9教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]15教材、[D生命や自然、崇高なもの]8教材、全40教材。重点内容項目として、「D生命の尊さ」全学年に3教材以上を配置している。 ・導入に1つ、展開に2つ、終末に1つの発問を位置付けている。主題名が小タイトルで位置付いて、導入では主題に関わる発問が位置付いている。「考えよう」では、多面的・多角的に考えられる発問と価値に迫るための発問が位置付いている。また、「まとめよう」で学習を振り返り「広げよう」で発展的な学びへと向かう発問が位置付いている。
2 岐阜県教育 振興基本 計画(第3 次岐阜県 教育ビジ ョン)の 基本方針 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、1・3年生2教材、2・3・5・6年生3教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材として、2年生「ぼくのゆめ—大前光市さん(岐阜県出身者)といっしょに—」、3年生「春の女神をまもる—ギフチョウ—」、4年生「『結』をつないで—白川郷—」、6年生「六千人の命を救った決断—杉原千畝—」、「わたしはひろがる」岸武雄(岐阜県出身者)作が掲載されている。写真のみの掲載は、2年生「うつくしいもの、うつくしいところ」(夫婦滝)、5年生「世界の文化遺産」(白川郷)、6年生「これが日本」(白川郷)がある。 ・教材のページに二次元コードあり。(1年生～6年生 計58教材)。挿絵、写真、動画、朗読、登場人物インタビューなどがある。 ・児童が毎時間の学習後の振り返りができるように、巻末に自己評価シート「学びの足あと」があり、評価に生かすことができる。1～2年生は、表情と一言コメント。3～6年生は、心の矢印と一言コメントで振り返る。学期末や年度末の長期的な振り返りができる「まとめ」の欄が設けてある。
3 東濃地区 の教員及 び児童の 実態を踏 まえた教 育の充実 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に学習の流れと、考えづくりのツールや「言葉のカード」、授業のまとめ方の例が記載されている。教材の始めに主題と考える視点や主な登場人物が記されており、教材文を読むとき、児童に着目させやすくしている。「かんがえよう(展開の発問2つ)」→「まとめよう(終末の発問1つ)」で、そのまま授業が進められる。 ・適宜、教材内に考えづくりのツールを使うとよい箇所を示し、様々な考え方で深めていけるようにしている。 ・各教材の末尾の「ひろげよう」で、具体的な活動や調べ学習などを提案し、家庭や地域生活につなげる工夫がされている。 ・家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭や地域へ広がりやすい題材を取り入れている。
4 表現や体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：210mm257mm(AB判) ・総ページ数と重量の平均：183ページ、357g ・道徳ノートが別冊であるが、別途購入が必要。 ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォントである。文章の記述は、1・2年生は、分かち書きである。 ・巻頭に4つの視点と内容項目を整理したページがあり、巻末に「学びの足あと」のページがある。

種 目【道徳】

発行者【224 Gakken】

調査項目	意 見
1 学習指導 要領改訂 の趣旨及 び内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル7(1年2, 2～6年1)、生命尊重18(各学年3)、いじめ問題53(各学年7～13)がある。目次に「いじめ防止」「いのち」という表記で位置付けている。 ・読み物教材は1年34個、2～6年35個、合計209個。問題解決・体験が83個。「深めよう」「心のパスポート」において、問題解決・体験学習を設定している。教材末に「考えよう」を位置付けている。 ・解説資料の「構成・内容一覧」には関連する教科等の例で、全学年の全ての教材209個を関連付けている。 ・1年生[A自分自身]11教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]9教材、[D生命や自然、崇高なもの]6教材、全34教材。6年生[A自分自身]9教材、[B人との関わり]8教材、[C集団や社会]11教材、[D生命や自然、崇高なもの]7教材、全35教材。重点内容項目として、[A善悪の判断][D生命の尊さ]全学年に3教材、「B親切思いやり」1～4年生に3教材を配置し、継続的に学習できる構成になっている。 ・展開に1つ、終末に1つの発問を位置付けている。内容項目の関するマークが位置付いている。導入に教材への関心をもたせるキーフレーズがあり、「考えよう」では、価値に迫る発問、自己を見つめる発問が位置付いている。また、考えを深める問いが適所に配置されている。
2 岐阜県教育振興基本計画(第3次岐阜県教育ビジョン)の基本方針に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、郷土に関する教材として、1・2年生1教材、3～6年生2教材を配置している。 ・岐阜県関連の教材として、3年生「すきなことから 高橋尚子物語」(岐阜県出身者)、5年生「わたしはひろがる」岸武雄(岐阜県出身者)作、6年生「あの夏の郡上おどり」、「どんな心が見えてきますか」(岐阜市ポスター)が掲載されている。 ・自然に関する教材は掲載されている。 ・二次元コードの位置付けは多くはないが、紙面上に写真等の資料の掲載が多い。教科書の内容に関連する音声、動画、画像等が利用できる(1年生～6年生 計62教材)。 ・巻頭に「つながる私 広がる私」、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、自身の成長の振り返りや課題、目標など4つの視点について、記述させたりする内容になっている。 ・毎時間の振り返りは記入できない。
3 東濃地区の教員及び児童の実態を踏まえた教育の充実に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、道徳の学び方(「考えを深めるステップ」)、4つの視点(自分・人・社会・命や自然)が記載されている。教材冒頭に、主題に関わる本文の一部が記載されており、教材文を読むときに児童に着目させやすい。「深めよう」のページでは、道徳の学び方の提案がされていて、そのまま授業が進められる。特に葛藤する場面では、2つの対立する立場を示し、考えやすくしている。 ・「心のパスポート」のページでは、役割演技など考えの深め方や、学習内容を具体的な活動や調べ学習へつなげる工夫が提案されている。 ・巻末に、「友達や家の人に伝えたい言葉」を書く欄が設けてある。
4 表現や体裁等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：210mm257mm(AB判) ・総ページ数と重量の平均：158ページ、325g 別冊ノートなし。 ・学年段階に応じた文字の大きさや行間であり、フォントはUDフォント(教科書体)である。文章の記述は、1年生、2年生「12雨上がり」まで、分かち書きである。 ・巻頭に「つながる私 広がる私(自分を見つめる)」のページがあり、巻末に「つなげよう広げよう(1年の振り返り)、次学年の自分へメッセージ」のページがある。